男女貞潔之理想 會長 島田三郎

公娼廢止之主張 副會長 安部磯雄

明治四十四年八月一日創刊
大正七年十一月一日第三種郵便物認可
（大正十年八月十日印刷）
（大正十年八月十日發行）
（毎月一回十日發行）

6-265

廓清

第十一巻第八號

＝（本誌の言論＝眞摯にして最も雄健 腐敗社會の清涼劑なり）＝

□社會淨化の一考察……足羽清美
□豫審調書の暴露……廓清會會長 島田三郎
□流行避暑病を排す……廓清會理事 高島米峰
□道德の極致……廓清會評議員 文學博士 井上哲次郎
□朝鮮開發問題……永井柳太郎
□賣笑婦と都市の影響……橫濱市社會課 木藤冷劍
□婦人參權とは何……婦人矯風會幹事 久布白落實
□社會運動の取締……辯護士 布施辰治
□國際聯盟の本義と效果……法學博士 添田壽一
□謎の世界吉原日記……前吉原病院看護婦 田口和子
□貞操の負傷者……廓清會理事 高島米峰
□編輯の後……圭英生

＝（本誌の使命＝凡百る予盾を裁斷し 墮落社會の眞の革正）＝

東京 廓清會本部 發行

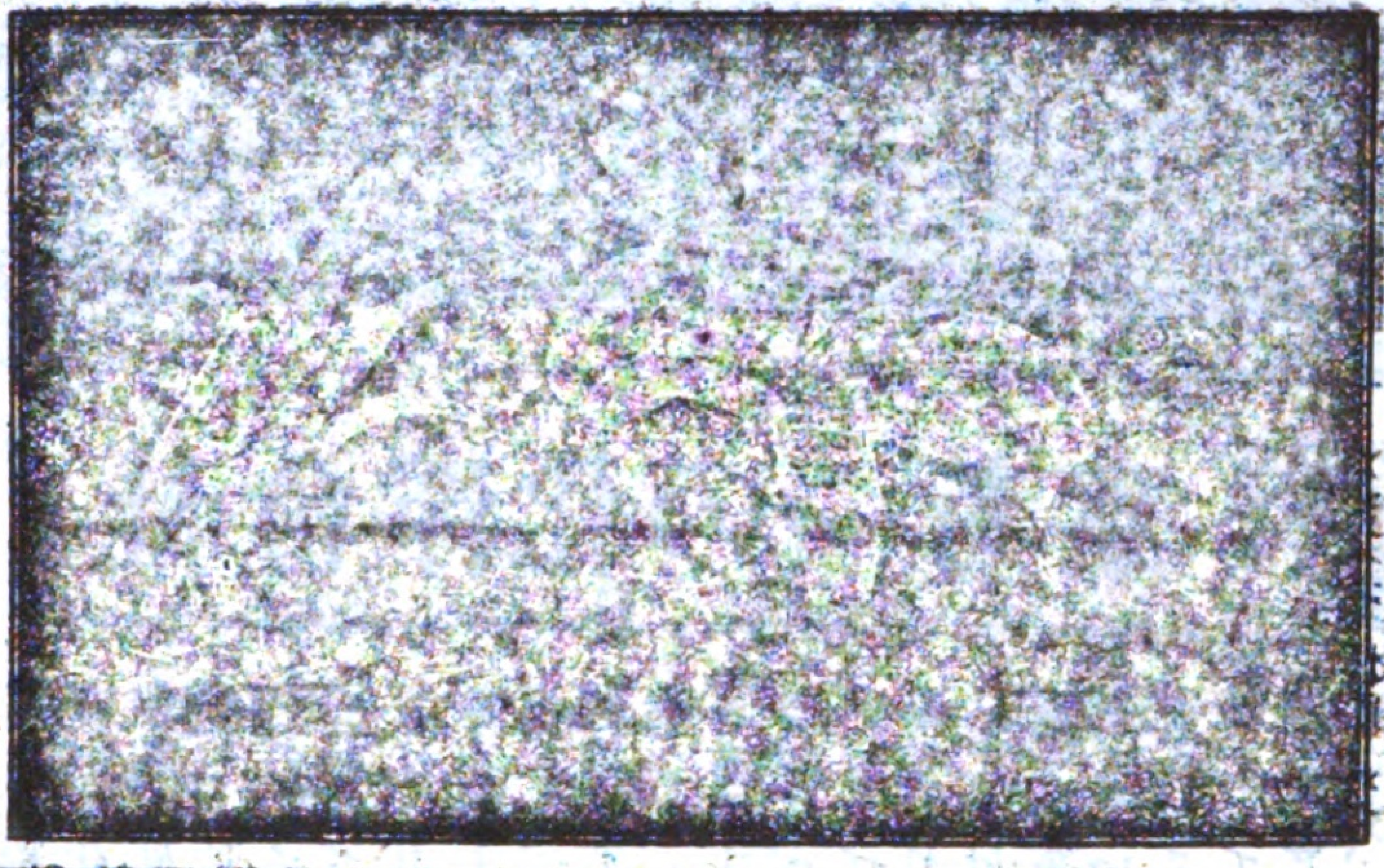
Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

避暑旅行の
お鞄の中に
清新爽快のもの二つあり！
ライオン煉歯磨（チューブ入ニツケル鑵入）の
涼しい銀の輝き！
完全消毒「萬歳歯刷子」の
白い美しい象牙色！
LION PASTE

社會淨化の一考察

皇室の藩屛なりと自ら稱ふるところの華族の腐敗墮落は、既に我等の耳朶には胼胝が出來て居ることであつて、鐵舟の忰が不都合を働いたとか、某子爵未亡人が離縁せられて何うであるとか、或は某の不肖兒が辻强盜を稼いだとかいふ樣なことは、此の頃では一向に珍らしい事ではなく、曩には殺人罪に依つて刑に問はれた者をも出して居るのであるから、左程耳新らしくも響かない。それ程に此の階級の紊亂は甚だしく、我等平民の想像も及ばないほどに徹底し、腐肉團化して居るのであつて、全く病膏肓に入れりと言ふも敢て過言ではあるまい。華族と雖も人間である以上、絶對に過誤なきことを期待することは能きないまでも、併し、彼等は平常自ら稱して皇室の藩屛と謂ひ、或は國民の儀表なりと稱して居るのであるから、苟くもその行動を嚴肅にし、不斷に自省して、眞に國民の儀表として恥ぢざるやう心掛くべきであるにも拘らず、恒に社會の良俗を攪亂蠱毒するが如きは、甚だしき不都合であり、實に言語道斷といふべきではあるまいか。然し、我等が若し純理上から考ふるならば、彼等華族も、我等平民も、共に平等無差別の臣民にして、その間何等の逕庭もなかるべき筈であるが、實際に於ては然らずして、彼等は我等庶民に較ぶれば遙かに寵光に浴して居るのであつて、華族世襲財產法に依つてその世襲財產は完全に保護せられ、或は、勅旨により認許せられたる時は皇族と婚嫁することを得、亦華族は貴族院議員たるの特權を有し、而して、禁錮以上の刑に該るべき罪を犯したる華族を處分するには、勅許を要するなど、種々なる特權が與へられてある。と同時に彼等にはまた特殊の義務をも負擔せしめられてはあるが、畢竟それは其體面を維持せしむる爲めの方法であつて、決して彼等を束縛せんが爲めに設けられたものではない。然らば華族たるものは、克くその地位を稽へてその行爲を愼み、而して此の殊遇に感じて只管過ちなからんことを夢寐の間も忘却してはならない筈である。然るに、動もすれば榮爵に醉ひ、寵光を恣にし、啻にその家庭の治まらざるのみか、近來の如く刑事被告人の頻出するに至つては、最早我等は華族を以て國民の儀表として看る能はざるのみならず、洵に沙汰の限りと謂はざるを得ない。そこで僕は爵位は、位階勳等と同樣に取り扱ひ、一個の榮譽として國家は功勞者に之れを授け、從つて親の爵を子に讓らず、不都合の行爲者からは之れを褫奪なし得る樣定めたならば、今日の腐敗も痕を絶ち、其處に社會の淨化せらるゝ動機も造らるゝ譯であつて、四民平等無差別の實も此處に擧げ得るであらうと考へる。今日に於ては族稱は全然無用のものにして、此くの如き階級的差別は何等の効用なきのみならず、その存在は徒らに事務の繁雜を招くに過ぎぬものである。（淸美）

廓清
THE PURITY
第十一巻第八號
大正十年八月



疑獄事件の豫審調書暴露

廓清會長　島田三郎

□何ぞ醜穢を極むるや

綱紀粛正運動が外交問題の爲め、聊か不振に陷りはせぬかと心配して居たら、東京市府疑獄事件の豫審調書暴露で茲に生きた證據が現れて、國民が痛切に綱紀粛正を感ずる樣になつた。誠に日本は天佑の國と云はねばならぬ。あの豫審調書を見れば第一衆議院議員選擧が滅茶々々であつた事が解る。第二には現内閣の與黨たる政友會の關係が明かである。卽ち選擧運動費が不正の收賄であつた。又或る被告が政友會代議士鳩山一郎や其他に「あの位で火を止めて貰ひたい」と賴んだら「警察官なら兎に角裁判官では駄目」だと云うた、之れで彼等醜類が警察官を自由にして居た事が解る。之れで政友會の下に在る警察官を最早國民は信頼するに足らぬのである。それに政友會總務の岡崎邦輔、幹事長の廣岡宇一郎、勅任參事官たる小久保喜七、警視總監たる岡喜七郎等の名前も出て居る。政友會の幹部たる彼等が直接事件に關係あるか何うか知らぬが、少くとも被告の依賴で事件を揉消さうとした、裁判官さへも動かせるなら動かさうとした形跡がある。然司法權の尊嚴を維持し其の獨立を擁護するのが政黨の本分ではないか、然るにそれを傷づけやうとした是れ實に滔天の罪惡ではないか、それから東京に於ける政友會の領袖である鳩山が鈴木司法次官に其の人格を保證した辰澤延次郎は何うだ、人格の全部が虚僞ではないか、或る意味に於て辰澤の人格を證明した鳩山も同罪だ、而して政府當局としては司法事件の起らぬ前に行政上から片付けてしまふべきものだつたのにそれを怠つた行政官

も確に多大の責任がある。瓦斯疑獄事件は二つの問題となる一つは事柄が中央に起つた全部的廓清の導火線である、殊に政黨の人が關係して揉み消さうとした事、鈴木司法次官が耳を傾けた事、値上すべからざる瓦斯を不當に値上した事である、斯る不正の値上は宜しく行政上取消し、更に再議に附して相當の値段に改めしむべき事である。モ一つは內務省が會社の內部を徹底的に取調ぶべき事である、蓋し國民の生活必需品であり凡ゆるもの丶原動力である『光』が賄賂請託てふ不正行爲の爲めに値上せられて居る事が明白になつた以上、政府は速に其の非違を匡すべきであり、若し政府が放任して置くなら國民は蹶起して斷じて改めさすべし、斯る不正不法を見逃す樣では到底綱紀の肅正などは出來るものでない。何れ此の事は來るべき議會の大問題として論議さるべきが、綱紀の肅正には同意であると明言した原首相は之れを何と見るか、論旨を廣めれば瓦斯値上問題は市區許りてない郡部の値上も同樣である、之れに就て阿部東京府知事は起訴されて居ないが國民の心證少くとも國民的裁判では阿部は單に免官された許りて濟むべきものでない、阿部があの儘で置かれる樣なら國民は現內閣を信用する事は出來ないのである。何となれば彼は熊谷前警視廳保安部長が金を持つて行つた時何故咎めなかつたか、此の一事は郡部の瓦斯値上に阿部が不正を働いたと疑はれても辯解の辭なからむ。次に此の事件には表面に現れた外に潛伏した嫌疑者がある、即ち調書を見れば不正に支出した金と受取人の明瞭になつて居る金と額が合はない、何處の何人に渡つて居るか行方不明の金が頗る多額に上つて居る、之れは百年の後迄も免れて恥なき罪人が社會に浮浪して居る譯て、誠に險吞な事だ、又阿片疑獄事件にしても、滿鐵事件にしても共に古賀廉造や中西清一の樣に政府と力を合せて治績を擧ぐべき責任者自身が、あゝ云ふ事をした、斯る人間を重用したさへ既に現內閣信用の破產だ、況んや阿部の樣に嚴重に罪しないと云ふに至つては何としても國民は默つて居る事は出來ない、凡そ政治の要諦は第一罪人を出さないのにある、第二は刑罪に入らぬ前行政上處分すべきである、然るに現內務省邊りがやれ民力涵養のやれ立憲思想の普及のと云うて見た所で一文半錢の値もない笑止な事と云はねばならぬ。

□神戶勞働爭議の教訓

次に勞働問題も愈々火の手が揚がつて居る樣だが、此問題に就て從來我國民は誠に未熟不用意であつた、勞働問題の由來は實に遠いのである。而も其の今日の難境に陷れたのは第一政府の目が覺めなかつた、第二資本家が現狀維持に汲々とし自己の利益の前には殆と良心を失つて盲目であつた、其が爲め今日迄景氣の好い時は危險の身に迫るも知らで無暗矢鱈に懷を肥やした、實を云へば當時生產者の利益は異常なる物價騰貴で、不自然の利益であつた故に生產者は儲かるが同時に直に生活を脅かされたのは勞働者であつた、吾人は好景氣は一時であつて永遠に續かぬと叫んだが、政府も資本家も何等耳を藉さす極度迄物價を暴騰せしめた、然るに不景氣となるや一番害を受ける地位に在るものは勞働者である、即

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ち資本家は儲かる時に儲けて置いたから、一朝不景氣になるや事業を縮少する生産を制限するそれから、馘首解雇になる勞働者は助からない、斯くては爭議は起らざるを得ない、理論を云へば政府は正貨を收縮して物價を上げず資本家は積立金をして置くのが其の義務であつた、斯くして始めて生産の安定は得られ勞働者に對する危險は防止が出來るのだ、政府も資本家も思ひを茲に致さず一度爭議起れば勞働者を暴民の如く取扱ふ何たる事だ、識者の云ふ所を聞けば勞働者は今日既に或る程度迄自覺して居る、現に神戸の爭議で勞働者が工場の管理權を要求したと云ふではないか、無理解なる資本家に對しては之れは無理のない要求だと思ふ、神戸の爭議も遂に血を流すに至つたが、之れは序幕に過ぎぬ、問題の前途を思へば眞に寒心に堪へぬ、政府も資本家も最早目覺めなければならぬ、或る階級の者を追出す樣な考へては永久に日本の産業は成立たない、曾て小林丑三郎博士が警告した事がある今日の資本家は何か會社の事でも相談するとなれば直ぐ待合に行く、又新聞を讀んで居る所を見れば彼等は先づ講談を讀む、斯樣な事では駄目だ、勞働者も同樣て、此の資本家の態度に倣うては駄目だ、勞働者が資本家に對抗するには自己の見聞を廣め罷工の際に於ける準備として平素多數の者が忍耐せねばならぬと、博士の警告以來多くの勞働者は覺醒した、爾來勞働者の集會には一切酒を用ひない樣になつた、又彼等は却々多くの出版物を讀んで居る、資本家が未だに依然として講談を讀んで居るのに勞働者は新聞の第二面を讀む樣になつて居る、此の點になると今日の警察官なども駄目である、彼等の知識は迚も勞働者に及ばない、斯くの如く下の方が進んで居るのに却つて上流が頑陋である、全部の勞働者が善いとは云はぬが只だ眼先の利益の爲めに盲目になつて居る、資本家に比すれば勞働者の方が自覺して居ると云ひ得る、今回の事は確かに將來に對する大なる警戒てあり訓戒てあつた、之れに鑑みて再び斯る事を繰返さぬ樣に自覺して貰ひたい、勞働者と資本家何れが自覺するか、又た自覺するにしても其の程度の如何が勝敗の岐路てある。勞働者にして同盟罷業をした際一二箇月も生活を支へるだけの資力があれば勝利は疑ひない、少くとも鬱血を他日に伸べる事が出來る。」(談)

本會創立十週年記念事業の一つとして來る九月二十五六、七日の三日間神田美土代町青年會館に於て(第一日)公娼問題、(第二日)藝妓問題、(第三日)は男女問題として演説會を開催することに致しました。辯士は島田會長を始め、安部副會長もそれまでには歸朝致される筈てすから、勿論御出席下さることとてもありますし、その他役員諸氏の熱烈なる應援もあり、夫れ〴〵專門の御方を御依頼することになつて居ります。從來、講演會は別として、演説會で、數日間同種類の問題を連續して取扱つた例は何れにもない樣であります。從つて尠なくも我が國に於ては始めての事でありますから、本部に於ても萬遺算のないやうにと、目下準備中てあります。

現在流行避暑病を排す

廓清會理事　高島米峰

消極的事業

嘗ては、暑に凉を探り寒に暖を尋ぬるは、餘計な時間と、餘計な金とを有する階級に於てのみ、特に當然のこととして許されたる時代もありしが、今や、歐洲戰亂の後を承け、人類擧つて、世界改造の偉業に從はざるべからざる、向上進展の積極的時代にして、縱令、捨てたい程の金と時とを有する人間と雖も、避暑の避寒のと、そんな消極的事業の爲に、心身を勞することを許す能はざるなり。

暑果して避け得べきか

『言ふまいと思へと今日の暑さかな。』苟も、息の通ひ、血の流れて居る程のものならむには、暑い時には暑かるべく、寒い時には寒かるべし、されど暑いと言つては凉しいところへ逃げ出し、寒いと言つては暖いところへ隱れやうとする位の程度のものならむには、どうせ、何處に往かむも、眞の凉味を掬し、眞の暖味に浴する幸福は得られざるべし。

箱根は暑くないの、輕井澤は凉しいのと言ふと雖も、僅か五度か十度の爭にしか過ぎざるべく、せめて、東京では、燒け死なむばかりの暑さなるに、箱根や輕井澤では、ドテラを着て、炬燵へても這入つて居るといふ程ならば、又、多少の興味も起らざるにもあらざれど、座敷の四隅に花氷の柱を立て、煽風器を備へつけて、斷えず凉風を送らせながら、『どうも今年は去年より暑いねエ』などと、愚痴を竝べて居る位ならば、寧ろ、自分の家に、家族と團欒して、一杯二錢の氷水でも飮んで居る方が、遙に愉快なるべきなり。

畢竟、これ財布と時計と寒暖計との問題にして、寒い時には『炬燵には矢張り炬燵の寒さかな』暑い時には『大名と煽がれながら暑さかな』、どちらに廻つても、不滿の悲哀から解脫することは能はざるを、氣の毒に堪へざるなり。

女子の面目としての征暑

若しそれ三伏の眞夏に、雪でも降つて、寒威凛冽とでも來れば、聊か以て面白からざるにあらずと雖も、古來、暑いに極まつて居る夏が、いくら暑いからとて、別に不思議もなきにあらずや、今更のやうに、避暑がどうの、銷夏がかうのと騷ぎ廻るなど、さて〳〵、手數のかゝる人間の多いことかな。

僕は、この避暑とか避寒とかいふ、その『避』の字からし

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

て、甚だ以て、癪に觸つてたまらざるなり。『避』とか『逃』とかいふ字は、要するにこれ、敵に後を見せるといふ字にして、卑怯者の形容に用ゐる字なり。吾等は、最初より此くの如き文字を必要となさず。

言ふまでもなく、人の世に立つや、苟も、敵に後を見せるなんといふことの、斷じてあるべからざるなり、心內の敵、心外の敵、敵といふにももとより種々あつて、寒暑の如きも、亦實に敵の片破れなり、今暑を避くといふものあれば、そは、卽ち敵に後を見せるものなり、寒を避くといふものあれば、そも亦敵に後を見せるものなり、これ豈、卑怯ならずや、恥辱ならずや。男子の面目として、否、男子と對等なるべき筈の女子の面目として、これを征伐せざるべからず、掃討せざるべからず。

暑に囚はる

更に一歩を進めて考ふるに、暑を避くると云ふも、暑を征するといふも、共に、暑に囚はれて居るからのことなり、暑といふ敵の、氣にかゝつてたまらざるがためなり。未だ、迷の境界を脫し得ず、凡夫の立場を離れ得ざるがためなり。

傳へ云ふ、廬山の緣德禪師、弟子を集めて生死如何と問ふ或は答ふ、春夏秋冬の相を變へるが如しと。その狀、如何にも大悟徹底、泰山前に崩れ來らむも、ピクともせざるが如き有樣なりしが、時恰も、宋の曹翰將軍、數多の兵を率ゐて山に登り來る、たゞ寺を借りて、休息せむと欲してなり、然るに、曩に、大悟徹底の生死觀を述べたる弟子共大兵の押寄せ來ると見るや、周章狼狽して逃げ出し、禪師一人のみ、堂の眞中に坐禪して、恰もこの活劇を知らざるものゝ如し、將軍乃ち劍を拔いて禪師の背後に立ち、叫んで曰く『老僧の後には、人を殺して、日を送つて居る將軍あるを知らざるか』と。此くの如くにして、始めて暑は暑のまゝ安禪、寒は寒のまゝ安禪、寒暑忘じ去つて、こゝに始めて、眞涼と眞暖とを味ふことを得む。

無寒暑の處

人生五十と、略相場の極れる今の世に、如何に長壽を冀ふもの多しとするも、誰か百年の形體を保ち得べき、我や先き人や先き、今日とも知らず明日とも知らず、後れ立つ人は、本の雫、末の露よりも茂しといへり。かゝる世に生れ合せてなまじひに、長壽を冀はむよりは、寧ろ、死なぬ工夫が肝要ならずや。

謂はゆる死なぬ工夫とは何ぞや。曰はく、死、卽ち是れなり、一度死にさへすれば、二度死ぬ氣遣ひなきことなり、大死一番し來らば、何ぞ壽命の長短を論ずる要あらむや。今、寒暑を忘ずるといふ、卽ち寒暑を超越することなり、寒暑の繫縛より解脫することとなり。更にこれを言へば、洞山和尚の謂はゆる、無寒暑の處に向つて去ることとなり、世の寒を恐れ暑を畏るゝの徒、これを畏れこれを恐れて、安じ得ざるよりは、寧ろ、速に無寒暑の處に向つて去るべきにあらずや。

謂はゆる無寒暑の處とは何處ぞ。輕井澤にあらず、箱根にあらず、熱海にあらず、房州にあらず、たゞ寒時汝を寒殺し

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

熱時に汝を熱殺するをいふなり。試みに思へ、汝を熱殺して何の暑ぞ、汝を寒殺して何の寒ぞ。織田信長のために焼殺されたる、甲斐の惠林寺の快川和尚が、火焔裏に打坐して、『安禪不必須山水、滅却心頭火亦凉』と喝破せる、又夫の、小田原最乘寺の慧春尼が、火宅に入りて『冷熱は生道人の知るところにあらず』と叫びたる、共にこれ、寒暑を忘るゝの境に入りたるものと稱せざるべからず。畢竟、暑い寒いは凡情の迷執なり、迷雲一度散ずれば、三伏凉風生じ、嚴冬暖氣通ずるを覺えむ。

低劣卑俗の避暑旅行

然るに、輓近暑を山水に避くるもの、年一年に其數を增し、苟も海に臨めるところ、苟も温泉を有するところ、苟も風景の佳なるところ、すべて此の種の避暑客に襲はれて、滿員客止の盛況を呈せざるはなしといふ。抑々何の故ぞや。

彼等若し、眞に都會の暑さに堪へ得ざるまでに、その健康を傷ひ居れりと言はゞ、僕は、さる半病人の甚だ多きを、國家の憂患として、それを悲しむと共に、國民保健の忽にすべからざるを高唱せざる能はず。

されど、避暑地に於ける、彼等が動靜の實際を觀る時、その放肆にして低劣なる生活振り、……或は痛飮夜半に及び、或は賭博夜を徹し、或は不義の淫樂に日もこれ足らざるもの……彼等避暑の目的の、那邊に存するあるかを、捕捉するに苦しまざるを得ざるなり、單に、暑を避くといふことさへ、僕等はこれを否定せむ、殊に況んや、此の如き、低劣卑俗の生活を豫想しての避暑旅行をや。

虛榮と流行とに動機せる現今の避暑

勿論。そんなに深く企んだ避暑旅行者ばかりでもなからうとは思へども、近年のやうに、避暑客といふものゝ激增し來れるについては、そこに、何等かの特殊の原因無くては適はざるなり。

想ふに、黑に白の縫ひとりあるベールが流行ると言へば、猫も杓子もこれで無ければ承知せず、隣りの奧さんのパラソルを見ては、自分もそれに劣らないものが欲しくなり、指輪も一つや二つでは寂しく、時計も腕に巻くのでなくてはとなり、虛榮心の發動と流行を趁ふ心との野合は、こゝに他人の出來ることは、何でもやつて見たくなり、それが思ふやうに出來なければ、肩身が狹いと感ずるに至る、その熱の高いのになれば、則ち書畫骨董が欲しく、自動車が欲しく、別莊が欲しく、女は夫以外の男が欲しく、男は妻以外の女が欲しく、夏は避暑を欲し、冬は避寒を欲す。

病みて醫師の勸むるあらば、避暑も避寒も止むを得ざれど虛榮に基き、流行に動機せる避暑避寒の如き、僕等その何の點よりするも、これを寛容すること能はざるなり。

何ぞ避暑の餘裕あらむや

米國にて、日本の美術骨董を商へるものゝ語るを聽く。戰時に在りては、無論然りき。戰既に熄みて、平和の曙光輝き初めてより今日に至るも、尙依然として、戰時氣分緊張し、

日本の美術骨董品などに、手を出すもの甚だ稀なりといふ。加之、世界改造の偉業を翼賛するの第一著歩として、千九百二十年の一月を限り、全米國に於て、酒を飲むものを根絶せしめむと、努力しつゝありといふ。

僕竊に思ふに、今後の世界は改造せられたる歐洲と、米國と、日本との鼎立によつて、その平和を確保し、安寧を維持せらるゝものならざるべからず。而して、縦令、國際聯盟が如何なる形式と内容とを具して、實現せらるゝとするも、日米間に於ける種々なる競爭は、決して絶ゆるの時なかるべきなり。即ち今後の日本は、武力の戰爭を爲すことなしとするも、永久に思想的商業的戰爭より、解脱すること能はざるべしと覺悟せざるべからず。殷鑑遠からず、近く、平和會議に於ける、人種差別撤廢案の蹉跌にあり。果して然らば、現在及び將來の日本人は、過去の日本人より以上に緊張せる氣分と、國難に處するの心持ちと、治に居て亂を忘れざる精神とを以て、手を擧げ足を投ぜざるべからず。何の餘裕あつてか、又骨董熱に浮かされ、避暑や避寒に憂身をやつさむや。

この際避暑を遠慮すべし

これを内にしては、物價暴騰のため、生活難の聲いよ〳〵甚しく、謂はゆる勞働者も、謂はゆる有識無産階級も、共に空腹に苦しみつゝある昨今、縦令、有り餘る金と時とを有する特殊階級のものと雖も、驕奢贅澤の振舞して、一握りにも足らぬ小さな壷一つに、數萬金を投じたり、花々しき物見遊山や、避暑避寒に人目を聳えしむるなどは、最も遠慮せざるべからず。

殊に、さ程餘裕もなき、洋服細民に毛の生へた位の程度の家庭の主婦なんどが、例の虚榮と流行とに鞭たれて、夫が油汗の結晶とも見るべき月給の幾分を强制して、たゞ僅に、二日か三日を房州の海岸に暮して、『ヘイ、この夏も、房州へ避暑に往つて參りました』など、尋ねもされないのに、盛に自家廣告を試みるなど、以ての外の狂氣沙汰なり。

それも、その二日か三日が、せめてのんびりと體を休め思ふさま氣保養でも出來たといふならばまだしも、往きの汽車も滿員で、碌々腰も掛けられず、復りの汽車も滿員で立ち通し、宿屋は宿屋で、上等のところは、これも錢使の荒い成金輩に占領せられて、下等の部屋では、一疊に一人位の大混雜、三度の食事も、間に合つたり合はなかつたり、折角金と時とを費して、不快と不滿と疲勞とを買ひ取るなどは、甚だ以て賢からざるなり。それでも、歸つて來れば、素知らぬ顔して、『夏は海岸に限ります』など、さて〳〵、度し難い代物なるかな。

避暑する權利なき日本婦人

啻に然るのみならず、今後の婦人は、男と共に、世界改造の大任の、半を負擔せざるべからず、男女の性的差別の撤廢を、政治の上にも、教育の上にも、勞働の上にも、實現せしめむこと、誠に婦人の頭上に落下しつゝある、緊要の問題ならずや。

歐米の婦人の多くが、參政權を獲得したるに、日本の婦人の大多數が、參政權の何たるかをさへ、知らうとも思はざるが如き狀態にありながら、何の暇あつてか避暑し避寒せむ。歐米の婦人の多くが、男子と共に、最高學府に學ぶの自由を有するに、日本の婦人は、男子と共學することを許されざるはまだしも、婦人のための、正しき意味に於ける大學の、一つをも有せざるを、恥辱とせざるべからず。然るに、何の顏あつて、避暑の避寒のと、人並の贅澤を竝べる資格あらむや。歐米の婦人勞働者の多くは、賃金を、男女に依つて差等を設くることの不合理を叫び、着々、實力に相當する賃金を得つゝあるに、日本の婦人勞働者は、男子の爲すがまゝに踏まれ蹴られて、尚且つ、その橫暴を橫暴とも思はず、慈善的溫情主義などに隨喜し滿足しつゝある狀、全く熟睡の態なり。かゝる同性の窮狀に對して、全く風馬牛なる現代の婦人が、何て避暑し避寒すといふが如き、權利あらむや。

積極時代

乃ち再び言ふ、嘗ては、暑に涼を探り、寒に暖を尋ぬるは餘計な時間と、餘計な金とを有する階級に於てのみ、特に當然のことゝして、許されたる時代もありしが、今や、歐洲戰亂の後を承け、人類擧つて、世界改造の偉業に從はざるべからざる、向上進展の積極時代にして、縱令、捨てたい程の金と時とを有する人間と雖も、避暑の避寒のと、そんな消極的事業に、心身を勞することを許す能はざるなりと。

＝貞操の負傷者＝

理事 高島米峰

處女の純潔といふ點から、西洋の婦人と日本の婦人とを比較してみると、一寸奇異な對照をなしてゐます。素より大體論ではあるが、西洋の婦人は、處女の純潔性のためには、死を以てしてもこれを守らうとする風習があります。が、一度夫婦關係が成立した後になると、所謂貞操觀は割合に自由なものになるやうであります。

これに反して、日本の婦人は、夫婦關係成立後の純潔性に對しては、克く死を以てこれを守るといつた歷史を多分に持つてゐますが、處女としての純潔性に對しては、割合に鈍感で、餘り重きをおいてゐないのではないかといふ觀があります。殊に今日の若い婦人達の中に、かうした疑を挾まれさうな婦人が、殖えつつあるといふことも或は事實であるかも知れません。

一體、この處女純潔論を始める前に、考へなければならぬことは、女性に對する男性、竝にその周圍の問題であります。何故かといふに、婦人自身が、自己の純潔を保たうとする力以上の、他の大なる男性の誘惑に襲はれて、一溜りもなく、その純潔さを破られる場合があるからであります。これは、もと〳〵、日本の青年女子が、異性に對する理解と、男女交際上の訓練が足らない結果から來るものといつてもよいと思ひます。

何しろ、日本の今までの社會は、支那傳來の、所謂男女七歲にして席を同じうせずといふ異性隔離主義を傳統として受け入れてゐますので、青年男女の交際が絕對的に封じられてゐました。然るに、最近になつて、女子もだん〳〵教育された結果、相當の自覺も持ち、男子も女子に對する從來の考を一變するやうになり、青年男女の交際も、次第に從來の隔離主義の固陋から解脫するやうに、なつて來ました。が、何分にも長い間の因習の結果、男性は女性に飢え、女性も男性に渇してゐたといふ狀態だつたので、恰も飢渇の胃囊の前に列べられた食物のやうな格で、大して珍らしい御馳走でもないにも拘らず、爭つて箸を取るといつたやうな急激な變化が、今日の青年男女間に起りつゝあるのであるから、こゝに青年男女の貞操上の負傷者を生み出すことは、當然の歸結だといはなければなりますまい。

這般の消息には、青年男女を責めるより何より、先づ彼等が、かういつた時代に生れ合つたことを、これ等の負傷者達のために、憐んでやらなければなりますまい。從つて、男性の側から、純潔な處女を配偶として選ふことの可能性が乏しいといふ訴へがあるなら、その罪科の大半は、今日の社會制度の不完全と、因襲的な思想の累ひと、そして、或る種の男性自身の無自制、そのものに歸すべきものでありませう。

今日の日本の社會組織では、配偶者の選擇といふことも、當事者自身が、自由に選び得るやうになつてゐないで、多くは家の爲め、親の氣に入つたものが選ばれ、また或はまた生まれもしない先から、若しも生まれたらといふやうなことで、婚約の成立する不合理極まることさへ、公然と行はれてゐる現代であるから、當事者自身の意志の加はり方が、少いと見なければなりませぬ。

從つて、當事者相互が、お互の性質品行など、何等の理解なしに、偶然と他動的に結合せしめられるやうになつてゐる爲め、旣に純潔さを失つた處女であつたといふ樣な發見に驚き且つ悲むをがあるでありませう。

今日の社會狀態を見ると、純潔を失つた女性の數よりか、純潔を失つた男性の方が、一層多いやうに見えます。現に男性が女性に向つて、處女の純潔さを要求しようとならば、何よりもまづ男性そのものが、一層純潔を保つやうにしなければならないと思ひます。男性自らが、處女の純潔を破つておきながら、處女の純潔を要求するといふことは、頗る矛盾した事柄であります。（談）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

宗教の歸趣と道德の極致

郵清會評議員 文學博士 井上哲次郎

□宗教發達の徑路

宗教は歴史的に考ふるならば、色々の段階を經て來るのである。そして種々の宗教成立して、その内には頗る幼稚のものがある。然し文明人の内に行はれたる、有力なる宗教と云ふならば佛耶の二つである。世人は此二つだけを思ふて、他の宗教を眼中に置かぬ傾向がある。然しながら宗教學者が宗教を研究する時は、種々なる種類のもの、及古今のものを歴史的に研究するのである。此二大宗教は、文明教と稱するもので、代表的である。然し佛教の前に波羅門教あり、又其の前に幼稚なる宗教があり、長年月を經過して佛教となつたのである。基督教も略ぼ佛教と同じ徑路を經て來た。卽ち基督教の前にユダ教があつた。然しながらユダ教は、その前の幼稚なる宗教よりも發達したものである。又吾人は蕃民間に殘れる幼稚なる宗教のある事を知らねばならぬ。そして又それ以前は宗教のない時代があつた。又宣教師が野蠻國に至り、宗教あるも餘りに幼稚なるために、宗教でないと思ふたと云ふ話がある。又神の概念に就て、スペンサー、カントの話があるが、私は、それは道德に關聯する方面であると思ふ。

宗教は道德上より見るならば、三段階に分類して考察する事が適當である。第一の段階は仁義道德上の要素がなきものである。初期時代の宗教は低級のものである。今日の時代より見る道德的價値を見出す事能はざるのみならず、却つて道德に背反するものがある。神も恐るべき神であつて、彫刻の神像も、恐る可き相貌をなしたる低級の神、卽ちその民族の缺點弱所を有する神である。そして多くのものを犧牲に供せざるべからざる神であり、宗教である。人間を食ふ風俗は低級の人類間にあり、又神は人肉を喜ばるゝとの考より、人間を犧牲にして捧ぐる風習があつた。進んだる宗教には其の痕跡がない、然し幾分かあるのがある。ユダ教には人間をヤーベに捧げた事はない。アブラハムがその長子を神に捧げんとしたが、天使來り其れを止めたために、家畜を捧げた。日本には水神が怒りたるため、橘姫が身を犧牲に供して、波を鎭めたと云ふ話があるが、是等も略ぼ同一の意味がある。兎に角第一の段階に於ては、道德的要素がない。

□ユダ教より起りたる一神教

第二の段階は迷信的分子はあるが、道德的分子を相當に含むのである。波羅門教には道德上の分子は少ない。然し女の貞節に就ては詳細に論じ、却々峻刻であつて、マノの法典に

說いてある。又道德上の價値が不完全なる顯れ方であつて、猶太敎に背て居る。猶太敎には摩西の十戒其の他道德的分子はあるが、又奇妙なる事がある。そして波羅門敎と猶太敎は何れも民族的宗敎である。だん〳〵後になつて、豫言者が出て追々と民族的を脫しつゝあり、中間基督に至つて全く世界的宗敎となつた。最初の神は、民族ユダヤ人のみを特別に選ばれたる者として扱ふ偏頗の神である。然しユダヤ人が一神を見出したと云ふ事は、文化史上大いに注意すべき事柄である。東洋に於ては未だ一神敎なるものはなかつたので、猶太敎のみ一神敎であつた。澤山の神々があると、相互に制し合ふものがある。之に反して一神と云ふならば、絕對と云ふ事になるのである。一神敎は哲學上に於ては既にあつたのである。プラトーンの如き最高觀念を神としたることが、その敎義である。又支那に於ても天とか上帝とか云ふものを立てゝ一神的の所はあつたが、然し宗敎として一神敎を唱ふる者はなかつた。

我が神道は一神敎と多神敎を調和したるが如き趣がある。天之御中主命は顯はれて御出てがない。地方には小さき廟あるも、近頃出來たものである。祭らざる隱れ給ふ神である。天照皇大神が顯はれた神の最大なるものであつて、之を巧妙に調和する所に神道の妙味がある。要するに一神敎は猶太敎より起つたのである。然し偏頗な嫉妬の神樣である。卽ち神の性質に不完全の所がある。ヘンマン・コーインは猶太敎の信者であつて、猶太敎の立場を辯護し、基督敎以上と云ふて居るけれども、誤つて居る。第三の段階は佛敎と基督敎である。此二宗敎は何れも文明的要素を吸收して、道德的要素を多く含むで居る。佛陀は基督と共に宗敎の革新者であり、偉大なる人格者である。其の時代は革新を行はざれば行詰りて、一新生面を開かねばならぬ有樣であつた。佛陀は波羅門宗ではなく、他の方面より出て、革新した者である。階級制度を打破して、一視同仁の道を開きたるは、宗敎の革新であり、時勢の自然的進步である。

□世界的宗敎たる佛敎と基督敎

印度には波羅門、シャッテー、リビシャ及アリアン民族で被征服者たるシュダの四階級がある。佛陀は是等民族の懊惱を救ふために新宗敎を開いた。佛陀は實に哲學者であり、又宗敎家である。博愛慈悲の厚き人格者である。そして佛敎は民族敎ではない。又基督敎は前にも申した通り博愛人道の敎である。四福音書中路加傳又は約翰傳が、基督の精神を能く顯はして居る云々の說あるも、兎に角四福音書全體に顯れたる基督は、博愛人道を主張する人格者である。そして其の態度は、世界的態度である。又佛陀は獨り人類のみならず、動植物一切に對して慈悲心を有した。基督は動物の愛を說いて居らぬが、兎に角二敎共道德的要素が多大である。そして佛敎は亞細亞以東に勢力を有し、基督敎は歐米に勢力を有し、世界を二分するの槪がある。現今は凡有方面が複雜の時代となつたので、波羅門敎は印度敎と變じ、猶ほ拜火敎其の他種種のものがある。交通が益々頻繁となりたるために、入り交りて昔の人の豫想せざる複雜を來したのである。

我が日本には佛敎も入り、基督敎も相當に入り、在來の神

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

道儒教等入り交つて居る。佛教は印度に起りたるも、種々の關係上、高尚なる方面は支那・日本に輸入せられ、今は印度になく、唯我が日本に高尚なる根本眞髄とも云ふべきものがあるのみである。又注意すべきは、大小乘の内小乘は既に潰れて、大乘佛教の系統を引くのみである。又波羅門教の哲理的の所は、佛教文學に依つて入つて居る。日本には佛教だけでも相當に混雜して居るのに、そこへ基督教が入つて來たから、一層の混雜を來したのである。基督教は倫理的一神教、佛教は倫理的汎神教である。此二つのものが接觸して融合せないので、思想の混亂を來したのである。歐洲の世界的大戰ば非常に宗教に關係がある。彼の破壞的戰爭は、基督教の主旨と予盾する。獨佛露英の諸國が、各自神に祈つたのであるが、神は何れの國に御加勢なさるべきか、實に御困りてあつたらうと思ふ。此慘憺たる大戰に依つて目醒めた人、又は極端に宗教を捨てた人がある。又獨逸の飛行機が頻りに佛國へやつて來て、爆烈彈を投下したのであるが、是等兩國の牧師等が其の間にありて、牧師として基督教の大主旨を説明するに困難したとの事である。然しながら是れは違つた方面より見ねばならぬが、今一々詳説する事を省略する。又カイゼルが神に祈つた事は、ユダヤ時代の事を思はしむるのであるユダヤの時代には神が太陽を待たせて、ユダヤ人を助け給ふたとの事がある。又大戰後宗教の關係が如何になりたるかを研究する必要がある。

□大人格者たる佛陀と基督

是れより道德方面へ入る前に一寸一言しやう。それは佛陀基督の兩教共立派なる人格教である事である。何故に人格教と申すかと云ふならば、人格者たる基督が活動と衝突の間にも、總てその人格が中心となつたからである。それは實に偉大なるものである。信者側から云ふならば、基督は實に神性を有する人であり、三位一體の神に就て確信と自任を有せられた偉い御方である。何れの道、基督は非常なる人格者てある。又佛教も佛陀が大人格者として教を説き、その中心となつて居るから大宗教となつたので、基督教と同じである。猶太教は人格教と云ふ事が出來るが、摩西を中心の人格者と見る事が出來ぬ。然し猶太教はユダヤ民族の集合的宗教てあつて、摩西は其の尤なるものである。又波羅門教は民族だけの宗教て、猶太教の摩西の如き人物がない。それは兎に角として、佛耶兩教共、人類理想の道德化を見出し、そこに遠大崇高なる觀念がある。

偖道德的方面に關する歷史を陳ぶるならば、四つの段階がある。第一、迷信的の部分が繼續して來て居る。第二、今日及今後の發展に必要なる道德的欠陷がある。具體的に言へば基督教には學術的、教育的に知識を研磨すると云ふ事や、經濟狀態の事や、其の他現實の社會的方面に就て多くの欠陷がある。福澤先生は嘗て駒込の有名なる和尙寺田福次郎に對し佛教に金儲けの事が書いてあるかと、尋ねられたとの話があるが、佛教には固より金儲けの法が書いてあるものでない。加之佛陀は乞食をして居つたが、然し其の乞食は意義のある乞食である。大體の經濟觀念に就き何等教ふる所がない。抑々佛陀の誕生後二千五百年、又基督の誕生後千九百年、その間

にカント、ダーウインは出たが、佛陀、基督の如き人格者は出ない。孟子は五百年目毎に、立派な賢人又は聖人が出ると申したが却々出さうもない。現代の我が日本にも、偉大なる人格者が出ぬのみならず、今回明治神宮造營に關聯して、犯罪事件の如き不祥事が發生したと云ふことは、實に慨歎すべき事柄である。そして其の犯罪者に對しては、峻烈に處罰せなければならぬ。

□道德上の最高人なる標的に向つて進む傾向

昔の時代は開けぬ時代であるから、聖人とか偉人とか云ふ人が出るならば、暗夜に於ける太陽の樣なものである。孔子も佛陀や基督と同じく、昔の時代に生れ出た。然し現代に於ては昔の如き偉人や聖人が出ぬとしても、決して失望する事なく、凡有人間に關する事は、吾人現代人の努力と自任に俟たなければならぬ。如何なる方針を執り刷新を遂ぐべきか、從來の宗敎は如何なる方向に向つて來たか、之を考究せなければならぬ。第三、崇高遠大なると同時に利己的個人的の點がある。本尊の主旨ではないだらうけれども。此利己的個人的の點が混入して居る。そして未來の敎、地獄極樂の觀念がある。佛は佛陀にはなかつたらうが、今出來て居る。此世に善心善行を積んで、未來即ち天國又は極樂淨土に行くと云ふ觀念がある。嘗て田中王堂氏は基督を功利主義者と見て論じたが、多少一理あると思ふ、第四、現世よりも未來を尊む風習がある。生命の延長を考へ、未來の責罰を免るゝため、正義人道に從ふて永遠の生命幸福を望む所の未來偏重の觀念がある事である。又宗敎の進步發展は道德的要素の大なるや否やに依つて定まる。そして道德上の最高人なる標的に向つて進む傾向となつて來た。佛陀は人格者である。神も道德上の標準である。人間をして道德的に力あらしむる事に依つて、宗敎の效力と生命が存續するのである。

大本敎は荒誕無稽のみならば價値がない。更に進んで研究すべきは、道德の起源は必ずしも宗敎と同じでないと云ふ事である。又哲學者の考究し宣傳して、社會的意識となりたる道德觀念がある。又哲學者が倫理學を立てゝ研究したことを知らねばならぬ。吾人は或る程度迄の自己發展は、大なる必要である。道德的生活の準備として必要である。他人の厄介になりて道德を說くは、思ひも寄らぬ事である。故に隣りを愛するは結構なれども、自己發展を先にせなければならぬ。先づ自己の獨立的態度を確立して、智能を發揮する事が必要である。そして是れは利己主義でないのである。又飮食其の他の慾道を充たす事は必要である。佛陀の禁慾主義は極端である。佛陀は實に人格者として四十五年乃至五十年間禁慾生活をやつた處は偉い。普通の者は出來ない。又若し今日であるならば、妻子を捨てると云ふ事は法律に違背する。吾々は生理的及精神的に於て健全であらねばならぬ。その意味に於て孔子、ソクラテースは、吾々普通人に近かつた。

◇自我より相互的へ、個人的より社會的へ

又佛、基兩敎共大分社會的になつて居るけれども、まだ却々個人的即ち神と人、又は佛と人と云ふ所がある。然しそれだけては不完全である。道德も個人的のみではいけない。現

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

代の社會には個人的が大流行であつて、利己的個人主義、人格的個人主義の二種がある。世界の眞の學者は、多くは第二の個人主義であるが、日本の社會一般には、第一の個人主義が流行する。自我實現説は至極結構であるが、そこに幾多の缺點がある。又自然科學の立場から道德を説く者があるけれども、道德は不可又は斯くあるだけではいけない。何うしても其の標的がなければならぬ。そしてその本務を定むる前に標的を定めねばならぬ。爰に注意すべきは道德上の刷新を圖らねばならぬ事である。凡有事は周圍及社會に關係する。卽ち相互關係を知らなければならぬ。又自我よりも相互的を力説せなければならぬ。個人のみならず、社會全體として進化發展せなければならぬ。今日は秦人と越人との關係でなく、實に交通でも何んでも頻繁の時代である。明治の初めと今日では、交通其の他非常の相違がある。そして社會的社會と云ふものが出來て居る。國際聯盟は其の進展の方針に向はせつつあるのである。世人の多くは、世界萬國と云ふ事を言ふがその實は萬國でなくて、五十ヶ國である。是等の國々に對し世界的氣運は、その所謂社會的社會に向はせつゝあるのである。又地球以外の金、火星の如き恒星にも、人類の生存は可能であるから、地球全體として進展、向上、完成を期さなければならぬ。デカルト・オーギスコントは此事に關し、獨創的意見を陳べて居る。

又人間だけではなく、動物植物に對し毫も道德的意識がなきかを吟味するならば、ダーウインの如きは、高等動物には幾分あると云ふことを主張して居る。近世の進化論の價値は妄りに慘酷ではいけないと言ふ事を敎ふる點である。佛陀は衆生一切を愛すべきことを主唱した。吾人は人類の共同發展を期し、相互關係を全うせなければならぬ。クロポトキンは相互扶助論を書いて居るが、その內に無政府主義を呼び出す樣のものはある。その點はいけないけれども、相互扶助そのものは、非常に結構の事である。然しクロポトキンは、植物の相互扶助を説く事を忘れた。又ダーウインは生存競爭に依つての進化、生存の爲の戰爭と申して、力の宣傳に重きを置いた。そして優勝劣敗、弱肉強食の言葉も出た。ニイチエの軍國主義は相互扶助と竝行せなければならぬ。そして功利主義を超越したる見地より見なければならぬ。又社會奉仕の大思想も起つて來る。卽ち吾々が吾々の生活を遂げ行くのは吾々の仲間の御蔭である。米、魚、蔬菜の如き、皆その專門の人々の勞力が伴ふて居るのである。又人類共同の目的を今一つ突つ込んで見るならば、個人主義を主張するに至つたのは、社會壓迫の反動であると云ふ事が出來るのである。吾人は此社會を極樂淨土にせなければならぬ。共同生活の道德を完成し、猶ほ宗敎に對する人類の標的を社會共同的に進ましめなければならぬ。神は天に在すのみならず、人間の心の中に內在して居る。要は人間性の理想を將來に投げ出すのである。そして吾人の社會意識を廓清して、鮮かに之を編み込み、以て文化運動をなすならば、誠に尊き意義あるものとなるのである。吾々には人間性を發揮すべき素質を有して居る。それ故に吾々は此素質卽ち完成慾、發展慾・法則慾を意識的に活躍せしめて行かねばならぬ。（文責記者）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

拓殖政策上より見たる朝鮮開發

永井柳太郎

□有色人種の心からの結合と協力

私は拓殖政策に多少の趣味を有するが故に、朝鮮の拓殖事業に就ても、大にその成功を祈る者である。獨逸の地理學者カールピツテルが、地理上より人類の生存競爭に於ける中心の移動を説明した。曰く第一、人類の競爭はナイル其の他河川の流域に起つた。第二、各國の中心が內海の沿岸即ち地中海の沿岸に移つた。第三、該中心が太洋に移つたと。コロンブスは米國を發見したのであるが、印度洋を廻航したので、其の航路は太洋に移りたるも、太西洋を去らなかつた。然るに今回の大戰の結果、歐洲文明崩壞のため太西洋時代より太平洋時代に移り來つた。太西洋には歐米の間に生存競爭起つたが、歐米共白色人種で白對白の域を脱せぬ。然るに太平洋に移り來りたる今日、米濠と亞細亞大陸、即ち白色人種對有色人種に移り來つた。此生存競爭に於て有色人種は白色人種に壓倒せらるゝのである。例へば亞細亞人が米濠に移住を企つるけれども、非常なる壓迫を受け生活の根柢を危うする。之に反して歐米人が亞細亞に移住すること深くして、其の範圍を擴大せられ種々危機を釀しつゝあるのである。

先年私が奉天に參りたる時、張作霖督軍に面會して一大教訓を與へられた。督軍が申さるゝのに、戰爭せんと欲せば三大條件がなければならぬ。戰ふべき人、武器、金である。然るに弊國は人數は備はつて居るけれども、第二第三を持たぬ。貴國は人口少なしと雖も、第二の武器と第三の金あるが故に、日支提携すれば諸外國より壓迫を受くるも決して恐るるに足らぬと。是は實に味ふべき言葉である。且つ此言葉は日支のみならず、日鮮日臺に適用する事が出來ると思ふ。故に將來太平洋を挾んで米國と亞細亞と戰爭あるべきを豫知し有色人種の將來を思ふならば、心からの結合と協力に思ひ至らざるを得ぬ。朝鮮統治は實に文化的意義を有するのである。此事は眞面目に研究を要するのであつて、東亞經濟會の如き事業を最も有意義と思ふ。併し産業を振興して幸福を增進せんことを希ふならば、先づ其の生活安定の基礎を確立する事は何よりの急務である。然るに事實は之を裏切つて、生活の安定を見る事が出來ぬのである。

□內鮮人の融合と日本建國の大精神

昨年十月三日より十日迄美濃部朝鮮銀行頭取や其の他の人

人が集り、日鮮人の關係等に關し調査協議を遂げられたが、私はその報告書を讀む機會があつた。之を讀んで見ても如何に內鮮人が融合する事能はず、內地より移住したる開墾者も生活の安定を得ず、續々內地に家族を引連れて還る事實を觀るのである。從來內地人は鮮人を輕蔑し、總ての品物を安く買ふた。甚しきに至つては彼等の所有物を强奪して反抗を受けなかつた。然るに此弱者たる鮮人が却つて內地人を脅し、內地人が還る樣になつたと云ふ事は抑何を語るか、此民心の變動に就き正直に研究し考慮を遂げて、除き去るべき者は除き去るだけの努力をせなければならぬ。私は嘗て朝鮮に參り、王宮たる景福宮や昌德宮の莊嚴偉麗なるを見て感慨に打たれた。併し一般の附近民家が孰れも隘小なる陋屋であつてその對照が餘りに奇であり、殆んど霄壤の差ある事に驚くと同時に、仁德天皇が高殿に民の烟の薄きを御覽になつて、三年免租の上御普請を御延ばしになつた事を思ひ出さざるを得ぬ。そして根本に於ける內鮮人の建國の精神の相違は、此邊にあるにあらざるかと想はしむるのである。日鮮合邦後融和するならば、李朝の事を想はず我が皇室の御精神を體得せなければならぬ。然るに事實は却つて相反するのである。

內地には男女共人間なりとの自覺を有してゐる。そして人間としての生存を保ち、機會均等を要求し種々の方面に進んで居る。之を抑壓する事は不當であり不正である。夫れ天上の星や路傍の花は意義なくして存在するものでない。皆天命や天職を負ふて居る。況んや萬物の靈長たる人間は、確固たる一大使命を兩肩に擔ふて居る。貧者や不治の病者と雖も、各其の使命を有して居る。それ故に生活の安定や天賦の自由を蹂躪するが如き事は一大罪惡であると同時に、爲政者は一般國民に對し生存徹底を保障すべき義務がある。是は內鮮人とも同樣である。然るに從來の政府は、鮮人と雖も人間なりとの自覺をなし、各人の生存保障の法令を施しあるや否やを考へなければならぬ。帝國議會は內地にありて、國民の希望に依り法令其の他の諸議案審議せらるゝが、朝鮮には中央機關に對し民意を暢達する機關がない。尤も總督府に對し中樞院がある。官選の參議副參議を以て成立して居るが、その權限は官制に明かでない、總督が諮問して中樞院が其の諮問案に反對しても何うと云ふ事はない。兎に角生存徹底の機關がない。臺灣は尙ほ苛い。歐米に比較すると頗る壓制である。

兄弟の親しみを有する同情同感より起る振興策

歐米の拓殖國新領土には半官半民又は全部民選て、民意を採擇する機關が備はつて居る。米の比律賓、佛のコチンチアエ、英の西印度に民選議院がある。又印度官民兩選の議院があつて、總督を監視する。然るに朝鮮には其の機關がない。その結果意思の疏通が乏しいから、內鮮人の間に善意を持つて居つても、互に誤解することを免れぬ。然るに先輩政事家は官僚に任せよと云ふけれども、併しそれは根本的に誤りてある。如何に明敏賢良なる政事家と雖も、自己の要求と同じく他を推察する事の出來ぬものである。聞く所に依れば近藤廉平氏の子息が職工になつて、孜々として勞働に從事して居

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

らるゝさうであるが、其の事は賞すべきも、他の普通の職工と異なり假令解雇せらるゝも困らざる彼れは、職工の眞の心情を解する事が出來ぬのである。內地人が朝鮮に對し適當の要求に合致すべき施設をなす事が出來ぬのは、大なる時代錯誤である。朝鮮の社會全體の要求を考ふるならば自治政治にせなければならぬ。中樞院も民意を暢達せなければならぬ。

眞實の意味に於て日鮮人協同する事が根本的に必要である。第二に振興策の必要なる要義は兄弟の親しみを持つて行かねばならぬ事である。予は衷心より鮮人に同情する者である。先年木戶孝允が岩倉公に隨行して露國波蘭のワルソーに行く、暗みを透しての道すがら、蘭人の樂の哀音が耳に觸れて、亡國の慘事に同情し落涙數行に及んだとの事である。私共は日鮮合邦になつた事は人種上の準備行爲であることを知ると同時に、思想感情の不自由なる點に就き誠實なる同情がなければならぬ。是は官民共內地人が持たねばならぬ。そして日常の生活に於て正義の伴行を要するのである。愛蘭のフィルランド教授の「殖民政策」なる書中に、下の如き一節がある。——西印度總督が或る日の夕方我が家に歸らんとする時、土人の馬鈴薯畑を踏み荒したので、其の持主たる土人は彼れを誰可した。其の時總督は傲慢なる態度を以て予は總督なるぞと答へた。土人は少しも驚かずして云ふのに、假令總督を六倍にする偉い人物でも毫も恐るゝに足らぬのみならず、此亂暴なる行爲に對し飽く迄も責めなければならぬと。そして直ちに裁判所に起訴したのである。裁判官は英人であるけれども公平の人物なるが故に、冷靜に受理の上調査喚問を遂げて、總督に對し損害賠償の義務ある事を宣告した。總督は憤慨して職を辭した云々。猶ほフ教授は此土人を始め多くの土人が感激して英國の政治に歸服した事實を擧げ、最後に斷案を下して「英國は一總督を失ふたけれども、西印度全體を得たと申したのである。

□殖民政策の根本義と東亞文化

想ふに假令吾々が數箇師團の力に依つて新領土を取つても、其の心を治め得ざれば何等の甲斐がないのである。若し然らずして、眞に新領土に於て民心を安んじ、悅服せしむる事が出來るならば、實に偉大なる成功である。そして其の成功者は植民政策の根本義を握つた者である。今日の日本は總て正義を以て律する精神が乏しい。先日水野氏は演說して、朝鮮の騷擾は過去十年間の誠意の乏しき政治に對する不平不滿勃發に依るのであつて、若し施政の方針が從來の儘であるならば朝鮮十三道の動搖を危まざるを得ぬと申されたが、確かにさうである。今や險險なる外人が隙を狙つて居る。米國は正義を名としてテキサスをメキシコから獨立せしむることを企圖して居る。又パナマをしてコロンビヤから獨立せしめて運河五哩の權を得たのである。又米國は今や國內に於ける愛蘭人獨立のために、東洋に手を延ばす餘裕を有せぬ。故に吾々は米國が其の機會を狙ふて支那朝鮮に入り込み、公共の安寧を妨害して種々の術策を弄することに注意し、大に警戒防禦を努めなければならぬ。第三に、出來るだけ鮮人の生活を保障し、經濟的增進を圖られねばならぬ。

英國は實業教育を施し、政府自ら會社を起し又民間に設立せしめ、土人を吸收して內地人と共に衰へ、共に盛んになる事を自覺せしめた事が善き手本である。然るに朝鮮には會社を起す事に對して會社令あり、種々弊害ありたるため、保險會社、取引所等の特別のものを除き、之を撤廢したのである。之は誠に喜ぶべき事である。私は此機會に於て、日本國內に半官半民拓殖協會の如きものを起し、內地に居つて能く拓殖地の事情が判り、職工を送り朝鮮を振興する事に努力せしめたい。要するに生活上の保證を與へ、空腹のなからしむる事に努力すべきである。そして思想融合の爲に大に奮勵し、亞細亞文化の爲に努力したいと思ふのである

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

賣笑婦と都市の影響（下）

横濱市社會課　木藤冷劍

□娼妓の年齢、縣別、前借金別

大正九年十二月末眞金町遊廓現在人員は第一表の一の如く九百九十四名にして年齢別にすると二十年未滿七十七名三十年未滿八百九十三名四十年未滿二十三名四十歳以上一名あり。之が出生縣別を見るに新潟縣の百八十三名を第一とし次に東京府百二十九名神奈川縣の百十八名山形縣八十七名、宮城縣八十五名福島縣六十三名にして他は何れも少數であつて、眞金町廓の分は前借金の判明せるものの調査がない。之を神奈川廓にて判明せる分七十四名の統計を見るに

府縣別	人員	年齢 二十歳以下	二十五歳以下	三十歳以下	四十歳以下	前借金 五〇〇圓以下	八〇〇圓以下	一〇〇〇圓以下	一三〇〇圓以下	一五〇〇圓以下	一八〇〇圓以下	二〇〇〇圓以下
神奈川	一八	七	一〇	一	|	一	二	二	五	六	二	|
長野	一	|	一	|	|	|	|	|	|	一	|	|
東京	一三	二	一〇	一	|	|	一	一	四	三	三	一
秋田	九	四	二	一	一	一	三	一	三	一	二	|
福島	四	一	一	二	|	|	一	一	一	一	|	|
山梨	三	二	|	一	|	|	|	一	二	|	|	|
新潟	六	二	三	一	|	|	|	二	|	三	一	|
静岡	三	|	二	一	|	|	一	|	一	一	|	|
栃木	四	|	|	四	|	|	|	一	三	|	|	|
埼玉	五	二	二	一	|	|	|	一	三	|	|	|
茨城	一	|	一	|	|	|	|	一	|	|	|	|

此ノ表以外ニ三十五歳以下ノ者秋田縣ニ一人あり

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

群馬	五	三	二	|	|	|	|	四	一	|	|	|
山形	一	|	一	|	|	|	|	|	|	|	|	|
宮城	一	一	|	|	|	一	|	|	|	|	|	|
計	七四	二四	三五	一三	一	二	九	一五	二三	一六	八	一

娼妓七十四名から判明せる分の統計調査を見れば前借金は最高二千圓にして東京府下の者一名ある外、一千圓より一千三百圓近の前借金最も多く七十四名中二十三名を算し、次に千五百圓が十六名五百圓以上千圓以下十五名あるもの。年齢は二十歳以上二十五歳以下最多をしめ約半數である。此の中には四十歳以上の者なきも眞金町遊廓の中には統計調査の示す所によると◎四十歳以上のものがある。四十歳を越して尚醜業に從事しつゝありとは眞に人生の悲慘事といふべきてはあるまいか。

予は更に進んで此等七十四名の娼妓の登錄申請前の職業の調査せるものを見るに新しい素人娘の娼妓となれるもの少く概ね前稼業の經驗あるもの又は藝妓酌婦の類よりなるを見て時代の趨勢は既に公娼になるものゝニッチモ、サッチモ行かぬ穴に落ちた者のみ入り込み往昔の如く誤りたる倫理道德の犧牲となつて泣いて親のために身を賣るといふ女の減少せるを見たり、左の如し。

回娼妓名簿登錄申請前ニ於ケル職業回

娼妓	女工	商業手傳	下女奉公	酌婦	藝妓	農業手傳	無職	合計
三七	一〇	二	六	一一	五	三	|	七四

回娼妓揚代金額（貸座敷營業者二十二名）回

一圓	九十錢	八十錢	七十錢	六十錢	合計
二	一	九	|	一	二二

回娼妓志願女の情況回

娼妓志願女の情態を知るについては一方ならぬ苦心を費せしも充分の材料を得る能はず娼妓周旋業者十二軒に照會せしも（全部は）回答は來らず遊廓へ問合しても一切何事も回答し來らず比較的詳細に回答し呉れたる娼妓周旋業者の報告と警察官署の調査情態とを綜合すると大略左の如くなのである。

近來娼妓の相場は最低二三百圓位より二千圓位がとまりなるも美容女と醜姿婦とは差あれ共多くは年齢と本人の健否に大關係を有し十八才より二十一二才位のもの最も値段よく三十才前後及醜婦は尤も低價なり近來の傾向は素人女少く大抵酌婦揚りの女なる由、茲に一例をあげんか某娼妓周旋業者の紹介せし某女は家庭非常に紊亂し本人も不品行なりしを娼妓周旋業者話せり金高は大抵五百圓以上千五百圓前後のもの最多を占め（横濱の周旋業扱は）手數料は双方より約一割宛謝禮を取る規定となり居れり。

近頃の不景氣に對し情況を聞くとやはり世間は不景氣でも

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

娼妓志願女は少き由之が理由を娼妓周旋業者の報告によると「各方面に女子の執るべき職業多くなると父兄及本人が通勤にて身の自由を得んと欲する故ならん云々」之を見ても近來の時代の思潮は婦人が自覺し來り時代に目覺めて自由業務に走り奴隷的醜業に從ふものゝ少くなるは喜ぶべき事である、近來登錄申請者の多くが前借金返濟のため又は自己不品行の結果酌婦より娼妓になれるもの多きが如し。

回公娼の研究材として從來とても誌上にあまり見ぬ珍妙な報告書をお目にかける左は本年横濱神奈川廓某樓より貸座敷樓主の承認印を押して其月分の營業、醜業賣上屆を市長宛にて稅務課へ差出せしものゝ寫にて、姓名樓名は判明し居るも都合にて記述せず其他は全部ありのまゝを記しおく、公娼研究材としては蓋し珍妙なる材料ならんか?

◇大正十年〇月貸座敷收入高屆◇

一金二千二十八圓九十五錢　○○町○○○第○○○
□□、□□□
一金千七百十七圓九十五錢也　貸座敷收入遊客五五九
一金三百十一圓　玉六百十二個ノ割受一ケ五十錢
一金七百七十三圓十錢　臺二五五七
一金三百五十二圓九十五錢　酒
一金二百六十八圓二十五錢　小物
一金一圓四十五錢　藝者香代共
一金十一圓二十錢　サイダー廿八本

娼妓玉賣數	金高	源氏名	本名
七四本	七四圓	勝山	渡邊トメ㊞
七八	七八	白菊	西川ハツ㊞
七五	七五	年子	北澤とし㊞
六七	六七	常盤	矢津せい㊞
五八	五八	羽衣	佐藤一みよ㊞
五五	五五	松島	佐々木まとな㊞
七七	七七	小今	田島きくえ㊞
六〇	六〇	巣花	田村やえ㊞
五〇	五〇	しづ子	静野つま㊞
五八	五八	あづま	大矢あき㊞

貸座敷　○○○○○㊞
取締　○○○○㊞

横濱市長○○○○○殿

右のやうな形式にて賣上屆けを市長宛にて差出すのである之を稅務課員が勘定して取立るのである、一玉一圓にして收入は半分分けとし納稅とは樓主は飮食代貸席代娼妓玉代玉分け等總收入百分ノ二、娼妓は百圓に對し二圓の稅金を徴收さるゝのである。外に遊興稅の徴收あり、此が横濱遊廓に於ける情態を見るに、横濱市最近判明實行二ヶ月目卽ち大正拾年五月の計算を見るに左の如くである。

回大正十年五月上旬の分回（實行二ケ月日）

廓名	登樓人員	費消金員	納稅高（遊興稅）
眞金町	七五〇五名	三八二四四・八三圓	三〇五九・三五圓
青木町	一七〇一	七五九二・三七	六〇七・三〇

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

回娼妓と社會事業◎……（完結）

人間が金で賣られて行くといふ事は眞に人生の悲慘事である今やあらゆる都市に社會事業行はれ諸施設備出來ると共に貧民問題、勞働問題、婦人職業問題姦しくいろ／＼な計畫はあるが此娼妓に對しては公休日さへ勵行してゐる所は全國に一二ヶ所外ない年中無休の醜業である獨り靜岡市に於て警察署長が樓主に圖り强制的に貯金を勵行せしめ大正八年七月より勵行せしめ百八十八名の娼妓にして大正八年末に九ヶ月間に一千七百八十圓に對し（大正九年一月より大正拾年三月迄）には三千六百九十七圓に達し居れり之娼妓に對する唯一の積極的社會事業なりとす、横濱市に於ても、市會議員、警察署長、女學校敎頭、軍人分會長、小學校長、社會事業家等の集團より成る社會施設の中に方面委員制度といふのがあつて、丁度幸いと、予が發案して此問題を提げて委員會に提出した市會議員鰐部朝之助氏上保慶三郎氏英和女學校長武安正和氏幼年保護會長内藤整氏等の御賛助の下に實行方法を攻究し不日何等かの方法にて積極的社會施設をなす考へである予の意見としては若し出願者もありせば自由廢業の應援でもやる考へてある近來官憲の態度も餘程かはつて來たやうである。左の如き快報を耳にした六月三十日の横濱貿易紙の報ずる所によれば

回平塚の自由廢業、粹な係官に聞屆けらる、と題して、山形縣南村山郡瀧山村字上梅田和次郎三女平塚町廓相摸樓事高橋治三方抱娼妓清川事渡邊トシ（廿二）は去廿八日午前十時頃大磯署に出頭し自分は大正七年中前借金三百五十圓にて同樓に抱へられたる以來病氣にて屢入院したるため前借金は重なり今は四百圓に上り償却の目あてつかず殊に兼て馴染を重ねたる伊勢原町の上原朝雄といふ男と夫婦約束もあり今廢業しても樓主に損をかけぬ樣償却してやると申す故娼妓名簿より削除されたしと自由廢業を申立てたるより當直の天野警部補は粹を利かして直ちに名簿を削除したるため清川は大喜びにて朝雄の元へ引取りたり』云々と。

□落籍、情死、自由廢業等

廓清六號誌上に横濱に於ける廢業娼妓別を掲載せしが甚だ正確を缺き一層詳しい廢業別を知るべく調査の所靜岡廓と横須賀拍木田廓の廢業別を知る事を得た御參考までに

娼妓廢業別調査

年別	所在	廢業總數	落籍	死亡	自由廢業	逃亡	轉廓	不明
大正七年中	靜岡	九六	六八	三	二	一	二三	—
大正八年中	同	一〇二	七三	一	—	—	二八	—
大正九年中	同	九三	七四	情死一	—	—	一八	—
大正九年中	横須賀	九七	四五	五	一	一一	三五	—

■取消申込＝拜啓貴會六月十日發行廓清五六號の卷頭不良老年の取締なる題下に拙生等に關する事例を引用して十二時過迄遊興して縣令を破り尚又不當に警察官を壓迫したる旨の記事を御掲載相成候處右は全然事實無根の虛報に有之（拙生等の氏名を騙りたる不正者有之直に露見夫々既に處罰を受たり）斯かる虛報が眞擧なりと稱せらるゝ貴誌に依りて發表せらるゝは貴論の當否は格別拙生等一身上の迷惑は甚だ不尠候條事實を明白に致置度に付此の全文を最近發行の貴誌相當欄に御掲載の上右記事御取消相成度此段申入候　敬具

靜岡縣廳　道岡秀彦

廓清會本部殿

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

婦人參政權とは何ぞや

婦人矯風會幹事　久布白落實

◇男女機會の均等

或人が英國の婦人參政權のリーダーなるフホウセット夫人に向つて「隨分長い間の御苦勞でしたね、丁度五十年間の敗北史でしたからね」と申すと、夫人は直ぐそれに答へて「否々決して敗北史ではありません、五十年の連續した勝利史でした」と云つて、先づ第一に男女の教育の門戶が開かれ始めた事から、ついで一つ一つ異つた職業の門戶が開かれ、今年は看護婦、次に女醫、五年の後は辯護士、其後は工場監査役などゝだん〳〵入くんだ職業が年と共に婦人に對して開かれて來た事、又同時に。年々歲々婦人が社會に於て人として認められて來た事、進んで市町村の政治や相談に參與し縣會の委員や、顧問、議員となり、終りに國會にまで進んで來た道程を物語つて、莞爾として社會改善の喜びを洩されたと云ふ事を聞きました。參政權の第一義は實に機會の均等に有ると申さねばなりますまい

◇日本の婦人と官職

先日この問題について重鎭と目さるゝ高野重三氏をお訪ねして種々御意見を伺ひました時、日本婦人と官公職と云ふ話になり、先づ手近い遞信省、鐵道省から始め、文部省、外務省、內務省、宮內省は、勿論、陸軍省海軍省に到るまで何等かの形で婦人の入つて居らぬ處はありませぬ、勿論高位高官には登つて居りませぬけれど、書記、囑托、判任官、奏任官、勅任官あつかいまで登つて居られる人もあります、司法省にも女看守があり、文部省には教員は勿論、東京、橫濱の如き評議員視學員にも婦人を任命して居ります、若し婦人が各市町村、又府縣に於ける學務委員となるやうになり、教科書の撰定にも參與するやうになれば男女の純潔、禁酒等の問題に對して更に徹底して、又進步したものを日本の子女に與へることが出來ると思ひます、官職は能力の進步と共に門戶は漸次開けんとして居ります。私共としては、各自が進んで取る事を要するものと思はねばなりません。

◇日本婦人と公權

我が國で婦人が已に公權を有し且つ使用して居るのは、大藏省です、營業稅の審査員を撰む權利は、男女同等です、凡べて營業を爲し居る婦人、又營業稅を納めて居る婦人は、今日已に各區役所、役場で審査員の投票をして居ります、又此人々は被選擧權も持つて居ます、此他の方面でも、婦人を禁ずる法律はないとききました、此方面から私共は進まなければなりません。

◇市町村政の知識

御維新以來男子の間には、士農工商をしなべて餘程「お上」と云ふ根生が拔け

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

て、國は我が國、政は我が政と云ふ觀念が日々深くなり來つたやうに思はれますが婦人の間にはまだ毎日歩む我家の前の道路の事でも自分の事とは思はれないやうな沒交渉の態度が行き渡つてゐて市町村のやり方でも全く暗を探ぐるやうな氣がします、然し參政の權と云ふ事はやはり足下から始まらなければなりません、私共は各々先づ自身の住ふ市町村の政治をよく查べて、何處の方面なれば自分達が入れるか、自分達が若し入れば何ういふ風に改善が出來るかと云ふ事を、丁度一家の家政を整理するやうに綿密に考査する必要が有ると思ひます。私共は幸ひに市町村政の問題に關しては權威と云はるゝ故井上東京府知事の後を受け、この問題に造詣深き田子一民氏に乞ふて連續講演を伺ひ度いと思ひ、已に第一回の御承諾を得て居ます、私共は又全國の姉妹方にお分けし度いと考へて居ます、全國に在る同志の友は又各地でこの問題について御研究下さる事と思ひます、私共は手遲れのやうですが、先づ學び、探り且つ進まなければなりませぬ。其間に漸次私共も縣會、國會に參與するまでに訓練さるゝ事と思はれます。

◇婦人參政權を誰れが持つか

今日市町村の公民と稱するものは、「滿二十五歳以上にして一戸を構へ、且つ治產の禁を受けざるもの(市町村制第七條)と云ふ事になつて居ります、婦人でこの資格を有するものは當然公民たる義務も權利も有す可き筈です、婦人で戸主であり、又世帶主であります人々は當然ですが、婦人參政權と云ふ時には、婦人の大多數を占むる人妻たる人々にも之れを獲ねばなりませぬ、私共は、獨立の職業婦人(醜業を除く)主婦共に之を獲る事につとむるのです、國家の大多數の代表的婦人が、我家を思ふ心を以つて、我村を思ひ、我町、我國を愛して之れが改善進步を計る爲めに力を盡すこと此れが私共の稱ふる婦人參政權運動であります。

□輕井澤に於ける廓淸運動

本年も例年の通り、本會幹部より輕井澤へ出張して、內外人の新會員を募集し、尚ほ且つ講演會を開きては如何との話が出て、伊藤理事のお勧めに由り不肯なる私が至ることゝなつた。八月七日午前七時二十分上野發の汽車にて午後零時二十分輕井澤驛に到着、直ちに豫て同地に滯在中なる本會理事松宮氏を訪問し、諸事打合せをなし、先づ舊知なるニウエル宣敎師の懇篤なる紹介狀を貰ひ受け、翌八日より宣敎師其の他外國人の間を歷訪した。ピユーリテーの一語は宣敎師各位の夙に熱心に主張し居らるゝことゝて、喜んで入會せられたる者多く、其の數二十四名に達した。尚ほ此外に多數の同情者を得たることは、誠に感謝すべき事柄である。

又同月十二日午後七時半より日本人敎會堂に於て、臨時大演說會を開くことゝなつた。島田會長は宿病再發靜養の爲めに、當地へお出での事とて、諸方面より依賴し來る講演一切を斷り居らるゝに拘はらず、特に本會の爲めに講演を承諾せられた。係同日午後七時半より豫定通り開會、最初に松宮理事本會設立の由來及今日迄の事業や運動等に就き詳細に陳述し、尚ほ時勢に關する所感を熱心に論述せられた。

それより、有志の合唱あり、次に新會員の募集をなしたる處、立所に二十名の會員を得た、それより島田會長は徐ろに立つて、此廢娼的事業は啻に世人より輕く又小さきものとして見られ居るも其の實最も重要なる大事業なることより說き起し明治初年公娼廢止したる來歷を陳べて、今日の現狀に論及し、尚ほ今後國際的大問題となるべきこと、諸方面より力說し、一般聽衆に多大の感動を與へられた。當夜の會衆約二百名頗る盛會であつた。予は十三日殘務を整理し十四日歸京した。終りに本會の此運動に多大なる賛助と同情を表せられたる各位に對し、乍略儀紙上を以て謹んで感謝の意を表します。(家田梅南生)

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

社會運動者と官憲の取締（二）

辯護士　布施辰治

◇不適法なる審問

由來人の自由を直接に侵害することは時によりて司法警察上許されて居る事であります、けれども何等法律上の根據なきに拘らず、直接人の自由を侵害する行爲は、明かに人權蹂躙なりと云はなければなりません。亦行政警察としては、一種の思想壓迫であると云はなければ爲りません。憲法第廿三條によれば「日本臣民ハ法律ニ依ルニ非スシテ逮捕監禁審問處罰ヲ受クルコトナシ」といふ人權を保證されて居るのでありますが、先づ黑表登錄の人物詮衡として、或種雜誌の購讀調べをするが如きは廣い意味での審問である。やさしく「あなたは何んな雜誌を御讀みになつて居りますか」と云へば、敢て之を審問と解するを得ずして之を不法に非ずと云ふ者があるかも知れませんが、如何に言葉が優しくとも亦如何に叮嚀であつても、其の目的にして一種の反法性を豫斷した危險扱ひの人物詮衡の爲めなりとするならば其れは明かに審問であります。もつとも之を今日の警察官憲に云はしたなら、強ひて聞きはしないと云ふてせう。任意に答辯を求めて任意に答をしたる者の中より之を詮衡して視察警戒の參考にするのだと云ふてせう、けれども、今日の警察官が或人に對して如何なる雜誌を讀むやと質問する事が既に一種の威壓であり答辯の强制であります今日の如く官憲の威力が大にして且つ専横にわたり易い狀態にあつては、私共一般人民の中で彼等の求むる所に添はず、望む處に應じないと云ふ自由を保持する者が幾何あるか問題であります。故に今日の官憲としては法律上明かに訊く事を許されて居らない事項に就ては眞に民衆の自由を尊重して之を問はざるに如くはないのであります。然るに之を無視して雜誌の購讀者に或種の答辯を强制するが如きは、やかましく云へば憲法違反であるから、憲法上臣民の權利卽ち人權として保證せられたる自由を侵害する事に爲るのであります。

◇公安侵害者に非らず

次に當局の好まざる演說會に出入する者、或る主義者と手紙の往復を爲す者に關しても、亦憲法第廿九條に「日本國民ハ法律ノ範圍內ニ於テ言論著作印行集會及結社ノ自由ヲ有ス」と規定されたる當然の精神から云ふて國民は凡ての集會に出入するの自由を有する者であり、亦憲法第廿六條の信書の祕密を侵さるゝ事なき保證を受けて居るのであるから、何人に對する手紙の往復も自由でなければならず、憲法第二十二條に「日本臣民ハ法律ノ範圍內ニ於テ居住及移轉ノ自由ヲ有ス」との規定の存する以上、何處へ行かうと誰れと往復しやうと全く自由なるべき筈であります。然るに或種の演說會に屢々行くからと云ふて、之に對する人權

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

蹂躙の要視察的取締りを爲し、或は或主義者へ訪問、手紙の往復を爲せりとの理由によつて同樣の壓迫的取締りを爲すが如きは、畢竟思想の自由、信書の秘密居住及移轉の自由等に關する人權蹂躙であると私は考へるのであります。

司法警察は此處に一個の犯罪ありと信じたる時に其犯罪の事實を證明して刑を適用する公訴權行使の準備をする警察であります。されば既存の犯罪といふ事が司法警察權活動の一大條件であつて、所謂要視察人としての黑表登錄は、如何に危險人物視さるる者だと云つても、未だ犯罪は豫想されて居ないのでありますから、犯罪なき所に司法警察なし、公訴權の活動なき處に司法警察なしと云ふのが原則であるから、如何に考へても、社會運動者に對する警察官憲の取締り方は、之を以て司法警察なりやと云ふに大多數の人々は何等の考慮もなく、恰かも高等行政警察なるかの如く考へて居るかも知れませんが、一體行政警察とは何ぞやと云ふ事を考ふれば、社會運動者に對して官憲の行ひつゝある現在の取締方法は斷じて行政警察なりとは云ひ得ないと信じます。試みに行政警察規則をひもとけば其第一條に「行政警察ノ趣意タル人民ノ凶害ヲ豫防シ安寧ヲ保全スルニアリ」とありまして、一般人民の凶害たるべき事を、やはり一般的に豫防して人民一般の幸福を助長し安寧を保全するといふのが其の使命であります。同じ警察でも救助警察の樣なものになれば、一個人の生命を助ける爲に警察權の發動を見る場合もあります。亦司法警察は前述せるが如く或る特定の法益侵害に付て、或特定人の犯罪を檢擧し、或は證明するといふ樣な事になつて居るが、所謂行政警察は人民總般の凶害を豫防する爲に人民總般に對して其の警察權を行ふ豫防方法が行はるるのであるから、斷じて或る一個人に對する直接の自由侵害等を許さるべきものではないのであります。彼の行政執行法は法律其れ自體が人權蹂躙の爲に作られたものだと云はるゝ迄にヒドイ法律として、公安を害する虞れあるものに對し之を豫防する爲め即ち公安の侵害を防ぐ爲に必要な時は、さうした公安侵害の虞れある特定人に對して、直接警察權の發動を見る事に爲つて居る所以のものは、やはり一般の行政警察としては、假令へ人民の凶害を豫防し且つ人民の幸福を增進し若くは、安寧を保全する爲なりと雖も、特定人に對する自由侵害の出來ないと云ふ行政警察の原則があるからであります。然るに、問題の要視察人の黑表登錄は申すまでもなく、特定人に對する自由侵害でありますから、之を行政警察と稱することが出來ないと信じます。況んや行政警察規則の第五條には、次の如き注意的明文を揭げて居る。即ち「警察官吏ハ公共一般ノ裨益ヲ計リ一家隱微ノ小惡ヲ發クヘカラス」とあります、之によつて考へらるゝ行政警察は、決して今日の社會運動者に對する警察官憲の取締りに見るが如く、思想の壓迫、生活の破壞、感情の殘賊等を顧みずして、一家隱微の小惡を發くのみか一種の危險人物を豫斷した中傷讒誣の出來る筈が無いのであります今日の警察官にして斯うした規則を見て居ないといふならば、即ち止むでありますが、只今揭げたるが如き明文の存する以上、現行の行政警察規則として立派に警察官講習所あたりで之を敎へぬといふ事はあるまいし、亦如何なる警察法の講

義や行政法の著書を見ても、行政警察の目的は只今私の擧げたやうな事に爲つて居るのでありますから、斷じて社會運動者に對して今日の如き方法を以て取締るべきものでないと信ずるのであります。

斷じて不法の處置なり

故に私は、今日の官憲が彼の警官をして直接に社會運動者の取締りに任ぜしめて居る取締方は、一體何種の警察によるものなりやを聞き度いものであります。私の淺學か寡聞か不幸にして私は行政警察としても司法警察としても此如き行爲の適法なるを見出さないのであります。故に之に對する嚴正批判として社會運動者に對する黑表登錄の要視察的取締りを論ずるならば、それは刑法上に於ける信用毀損であり營業妨害と云つても差支へないと信じます刑法第二百三十三條には信用毀損に對する規定があり「虛僞ノ風說ヲ流布シ又ハ僞計ヲ用ヒ人ノ信用ヲ毀損シ若クハ其業務ヲ妨害シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス」同じく第二百三十四條には「威力ヲ用ヒ人ノ業務ヲ妨害シタル者亦前條ニ同シ」とありて、今日の官憲が社會運動者の心からなる弱者救濟の思念を目するに、社會秩序を攪亂する危險人物を以てするのは、明かに虛僞の風說を流布する者に當るのであります。亦私の知れる甚だしき一例として次の樣な事があります。警官の無法なる檢束を加へたる事實を以て前科者なりと稱し、遂に其の人の愛妻を反かしめたのであるが、此の如きは僞計を用ゐて人の信用を毀損するものと云はねばなりますまい。其他社會運動者を目するに今にも何事か恐るべき謀叛を仕出かす人物なるかの如うに云ひ振らし、貸間の立退きや、下宿の追立てを餘儀なくせしめるが如き事も、家主等に對する信用毀損の結果として生じ來れる悲慘な事實であります。

更らに刑事巡査が一種の商賣屋に出入して、物品の購買に來る者に厭がらせの態度を示したり、暴言を放つたりして、自然其店を寂れしむるが如き營業妨害の事實もあるのでありますが、此くの如きは警官の威力を用ゐて人の業務を妨害したるものと斷じてよろしいと思ふ。又刑法第百三十條によりますれば「故ナク人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若クハ艦船ニ侵入シ又ハ要求ヲ受ケテ其場ヨリ退去セサル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス」とありますが人のいやがる所に何等法律上の理由なくして煩い程訪問し、剩さへ營業の邪魔をするまで長居するが如き事があるならば而して其訪問を迷惑として其退去を望んで居る事が明かなるに拘らず、警官の威力を以て明白に其意思を發表し難き狀態に至らしむるならば、是れ亦內容的に見たる家宅侵入の罪ではあるまいかと思はれます。

之を要するに、社會運動者に對する官憲取締の第一段として黑表を登錄する要視察は、何等法律に根據なき人權蹂躙なるのみならず、進んでは官憲の犯罪を構成するに至りはしないかを、警察官の爲に御注意申上ぐる次第であります。

○正誤　前號所載の水津謙介氏論文『貞操と形式』中、第三十四頁二段目終りより四行目の『第一次的』は『第二次的』の誤植に付き茲に訂正致します。

國際聯盟の本義と效果

法學博士　添田壽一

□國際聯盟と米國の關係

諸君は我國内の狀況を如何に見るか、議會の模樣を見ても、如何に低劣醜汚なるかを知る事が出來るではないか、又國外に就いては米の太平洋艦隊が太平洋に集中したりとの電報を見ずや、我が政府當局者も國民も、小事に拘泥して國家の大事を忘るゝは如何なる故か、深く考慮せねばならぬ。此度の世界大戰亂なるものは、屢陳べたる如く各國の自我的精神に依りたるものであつて、一方善き方面から見るならば、生計の向上を圖る事と、國政を民意に依る經濟的帝國主義の上に立つる點にあるのである。此間に處して最も巧妙に優勝の地位を占めたる國は、大英國である。之に反して軍國主義を標榜して、大失敗したのは獨逸である。此大戰亂の爲めに損害が何程であるかと云ふならば、昨年十二月ロイドジョージ氏の發表したる所に依れば、死者九百萬人負傷者三千萬人、直接損害五千億圓間接損害六千七百億圓であつて、計數上より見るも實に甚大なるものである。交戰國は實に其の悲慘なる戰爭に懲りた。然し未だ人心が一變する迄には至らなかつた卽ち俗に云ふ所の善心に立ち歸る事が出來ぬのである。

列國は其の大と小とを問はず、何れも自我的に陷りつゝある事は爭ふべからざる事柄である。インターナショナリゼーションは行はるゝも、ナショナリズムを免るゝ事は出來ぬ。吾々は現在の事實と將來の希望を混同してはならぬ。現在の事實を目標として進まなければならぬ。そこで人類が一時的にせよ、懲りたのが國際聯盟を形作りたるものであつて、各國の批准を與へられたのである。そして批准を與へ調印したる國々を束縛する神聖なる規約である。佛國のヴイヴアン氏は、特別の任務を帶びて米國に向け出發したが、右は新大統領ハーヂング氏にヴエルサイユ條約を批准し、米國が依然聯合國の一員たらんとするを慫慂するに在りと信ぜられて居る。又英國の駐米大使も政府の命に依り、新大統領に對し之が勸告を努むるとの事である、由來米國がウイルソンをして國際聯盟を主張せしめたのであるから、英佛等の諸國がその米國を聯盟の圏外に置くは遺憾に付速かに入會せらるゝ樣にと勸告するは、誠に無理ならぬ事柄である。

□軍備制限論と工業動員

米國が批准せざるは、國民のウイルソン個人に對する感情もあり、共和黨の民主黨に對する關係もあり、又該聯盟が英國を主とする爲めに、對英の敵愾的見地を抱く原因もあり、又獨種米人の感情上の關係等種々の理由があるであらうと思ふ。兎に角事實ヴエルサイユ條約に對し獨が不眞面目であるため、條約に依つて

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

開催せらる丶ゼネバ會議に於ても、多くの重要議事が未決の儘保留せらるる事になつた。そは勿論有力なる米國の參加せざる爲めてある。聯盟の權威が多少失墜のために幾分忘却又は水泡の懸念を抱かしむる事は、返す〳〵も遺憾てある。又聯盟規約第八條に軍備制限を約する事となつて居るので、其の細目に移るべきてあるが、是も同じくゼネバ會議に於て延期したるは、矢張米國の不參加に依るのてある。又我が第四十四議會に於て尾崎君の軍備制限論に對し、政友會憲政會其の他の多數議員が單に不同意を表したるは背信の極てある。若し不同意てあるとしても條件は附てなければならぬ筈てある。又議會の多數者が陸軍を憚りたるは我輩の大に反對を表する點てある。兎に角此案が否決の爲めに巴里會議に於ても誠に困つたのてある。

又彼の山東問題以來支那に日本軍國主義てふ口實を與へて、列國が日本を第二の獨逸なりと看做すに至つた。將來の軍備を如何にすべきやと云ふならば、總て國民の意思に從ふべき時勢てあつて、國民の向上改善を主とせなければならぬ。君主の權威や宰相の慾望、軍閥の野心のみに依るべきてない。又今日は戰備の形式も一變したる事を知らなければならぬ。今や飛行機飛行船等を使用する事益益頻繁多大てあり、且つ機械科學の力に由る範圍が愈々擴大せられた。其の結果としていざと云ふ場合には、工業動員にならなければならぬ。それのみならず獨逸ては五ヶ年近くの持久戰となりたる爲め北瑞西の境迄國民總動員をせなければならぬ事となり。老幼男女を問はぬのであつて、國民全體が直接間接に此動員に從ふべき事を致へた。國民動員は人心の一致に依つて、初めて總括する事が出來るのてある。

□國民の自覺と總動員

我が國の軍備を冷靜に考ふるならば、明治二十七年以前迄は國內の爲めの戰爭てあつたのが、明治二十七八年の日淸戰爭及明治三十七八年の日露戰爭と、今回の歐洲大戰が初めて外的となつたのてある。そこて今後は從來の內敵を一掃せなければならぬ。米騷動等に兵力を用ゆる事は憂ふべき事柄てある。同胞を妄りに抑制し鎭壓するは考へものてある。若しも民意に背く壓制的行動を執る爲めに、軍隊が其の命令に從はぬ時は如何に成り行くべきか、種々考慮を要すべき事柄てある。そして悲しいかな叙上の如き戰爭に關する世態の諸變化に對し、大正十年度の戰備の內容が更に吻合せず、誠に不得要領てある事を證明すると同時に、一方緊要なる國民動員と云ふ事に注意せざるは、實に困つたものてあると思はしむるのてある。我が軍備は總豫算の五割てあるに拘はらず、敎育の方面は更に振はず多數の小學より出てたる學生をして、中等の敎育を受けしむるために、容易に中學に入學せしむる事能はずして困つて居る。敎員の生活問題も安定を得ずして脅威を受け、不安を以て滿たされて居る。又當局者の社會政策は、お辭儀一通りだけてあり、衛生に就ても一向行屆いて居らぬ。嘗て深川の工場を巡視して視察を遂げたが、工場內は不衛生だらけてあつてお話にならぬ。卽ち寢るのにも晝夜交代て、互に同じ寢床と同じ布團を用ふるのてある。勞働婦人が不衛生の結果癈疾となり、又は早死するのは誠に憂慮すべき事柄てある。泰西の政事家は國民生計

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

の狀況を重んずるに拘はらず、日本の爲政者が之を閑却するのは、實に恥づべき事であり、殘念の事である。そして此生活の不安より危險思想を釀成するのであると云ふ事を知らなければならぬ。それ故に十年度の豫算には、單に軍備擴張のみで他に何等の見るべき施設のないのは遺憾である。

政事の大方針は單に兵を增し艦船を增すだけてはいけない。軍備は國民の利益と國家の生存を全うする事が、大方針てなければならぬ。軍備は唯大陸を維持し海を遮るだけて宜しい。今日の工業動員法は出て居るけれども、徹底しない。又我國に於ける鐵の產出は長期に堪ふる事が出來ぬのである。然るにソレムの一戰の彈丸消費高三千萬發てあつて、之を金額て見積つて十億圓てある。又燃料は將來の大戰爭には、石油に依らなければならぬ。此活動又は速力上の事は總て石油に依ると云ふ譯になるのてある。然るに日本の石油田は僅かに一箇月の戰爭て盡きて仕舞ふのてある。又單に兵數を增すのは一の御飾りてあり、軍人の玩弄物てある。又國民總動員は我が國民の體格劣等なるため、到底彼の生計の度高くして强大なる體格を有する歐米人と競爭する事は出來ぬのてあるから、能く生計改善問題をも考へなければならぬ。又有形無形に體力の衰ふると云ふ事は、忠君愛國の心を薄からしむるのてある。そして現下徵兵忌避の悲しむべき現象を見るのてある。兎に角國民總動員を完全にする事能はず、且つ國民が此國家を背負ふて立つと云ふ自覺なきは遺憾至極てある。それ故に國民に參政權其の他の諸權利を與へ、自覺を喚起せなければならぬ。何等自覺なく斬新の計畫なき數量的軍備擴張をして居るのはその愚や憐れむべきてある。

□國際聯盟の效果と平和の極致

自覺と能率は經濟的競爭に於て必要てある。我が國の製品粗惡て價額の高い事は世界に於て有名てある。又我が國は昨年四億圓の輸入超過てあつたが、今年は猶更甚しいだらうと思ふのてある。今日の世界の大勢は、軍備だけては物騷てあり不安てあるから、何うしても國際聯盟の規約を守らねばならぬ。そして一國文化の進步を圖らねばならぬ。米國が聯盟に入ると入らぬとに拘はらず、大に勵行せなければならぬと同時に國際聯盟協會を盛んにせなければならぬ。協會は國內て惡口を言はれて居るけれども、國外に相當の働きをして居る。山東問題の如きその一例てある。又米國に於ける排日問題が國民投票に由りたる事は、吾々の注意すべき事柄てある。乍併吾々は公明正大なる態度と國民的和親の精神を以て國際問題を解決せなければならぬ。

軍備の制限、縮少は主義としては贊成てあるが、何もかも贊成し滿足する事が出來ぬので、標準が面倒てある。同じ金額の割合ても其の施設の方法が色々に違ふのてある。終極は軍備全廢てある。戰爭以前に仲裁(規約十二條)裁判(規約十四條)に依り、平和的手段を以て解決せなければならぬ。もしも自我的國民主義に依るならば、第二大戰となり日本が最も迷惑を受くるのてある。吾々は平素主張する連帶共存即ちソリダリズムの上に立つべきてある。そしてデモクラシーを徹底的たらしめなければならぬ。資本勞働一致、人種一致に至るならば、直に徹底的平和の極致に達するのてある。若し人類が現實のみを尊ぶならば、決して進步向上せず、世界は野蠻蒙昧の域を脫せぬのてある。若しも第二の大戰ありと假定せば、學術の應用に依りて其の戰禍が一層慘憺てある事は申す迄もなく、所謂文明に依つて文明が破られ、學術は幸福を妨ぐるものと成り果つるのてある。我が國は他の歐洲交戰國に比するならば相當の餘力を有して居るのてあるから、國民發展國家進步の爲めに貢献する心掛を有さねばならぬ。私は諸君が國家の爲めに、又國際聯盟の爲めに充分努力奮鬪せられん事を希望するのてある。

(講演要領、文責記者)

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

謎の世界吉原日記（五）

前吉原病院看護婦　田口和子

七月三日（木曜日）

今Hも、此の雨降り中を、アメ賣りヴアイオリン彈きの靑年は、病院裏のへイ外とて、まづい聲出し、一生懸命て、俗歌ばかりを歌つてる、此の男の、常客は主として、近所の裏長屋から、出て來る子供と、二階の娼妓とてあるらしい。

午後になると、きつと、照つても降つてもこの病院裏らの小路に、軒低う立ち並んだ、長屋の窓際に倚りかゝつて、飴賣り乍ら、卑猥な俗歌を、なにば節の時に出す樣な、咽て歌ふのてある。いつぞや、Y樣達ちが餘り大きな聲出して、二階の患者と、かけ合ひに謠ひ、やかましくて仕樣がないので、裏門から出て行き「こんな所へ來られては困ります、來ては、いけませんよ」つて云つたら「私は入院患者を慰安してるのてす……」だつて、云つたとか！　なまけ者のくせに、口實の甘い事等と、笑つたつけ。

誠に、一日中！　何と云ふ用事もなく、ブラ／＼と、過ごしてる、患者に取つては、或ひは、いさゝかの慰安とも成らうもの、まんざらの嘘てはないけれど、活動盛りの男子が、斯やうな人の、相手ほしさに、騷ぐことないゝ事にし、喋々するのは、決して、ほめた者てもないわつ！　試みに、二階をのぞけば、十號から十二號までの患者中其半ばは、皆、外側の窓！　細かく編んだ、金網から、互ひに、のしかゝつて見てるのてある。

あんな人！　相手になるの！　面白くつて？

ときけば、

面白いわよつ！、第一ち、かうてもしてなきやア！、日がたゝないんてすもの！、後生だから、見て見ぬ振りして下さいよ！」と、手を合せるまれするので、をかしさに吹き出し乍ら

「そんな事云つた所て、先生方が取り上げるじやなし！みんな知つてるんてすもの告げたつて勢がないわ！」と、云へば、

「さあ、又、おばさん（洗濯する人のことてあらうに！）賴んて、飴十錢がな！買つて買ふかなあ！」と、一室の三四人が、〆ラ／＼と立つた、私は、こゝて、始めて、此人たちの、求めかたが、わかり、割合ひに、病院ののん氣さ！不行屆きの點を知つたのてある。

外に在つては、子供たちが、もう、此の男の歌ふ歌を、空ておぼえ、まはらぬ口に「コロッケ／＼……とか……、と、大きな聲て、歌ふ樣になつたのてす。

すべて、斯る光景を、日々に刻み込まれる、此の純な今は無意識てまれてる子供等が行く末はあんなに成るのだらう？　思へばかあいさうな至りてある。

夜！市ヶ谷へ行つての歸途！　電車中て又、面白い事があつた。吉野町て、下車しかけてる二人の若者……、二錢のお金足らずして車掌と押し問答し、始め中ては停車をじれつたがつて「早くしろよ冗談じやないぜ……」なんて運轉手の方へ怒鳴つてゆく者もある有樣、見兼れて急ぎ懷中より不足の分を「失禮てすけれど……と、車掌へ渡して發車を願つた所、彼の男達二人りはそれても顏をあかくして男らしく「やつ姉さん有難う……イヤどうも……」と、頭かき／＼宙を飛んてお去りになつた。雨の降り出した時とて充分の用意もなくお出かけなすつたものだらう……とは云へ…風采から云へばまるて遊廓通ひの者らしかつた、て、……これがもしも一つも向ふの、山谷停留所だつたら、女郎買ひの尻切れ草履として、好模範の人物となるのだつたかも知れないわつ。

だが、其代りとして、好模範の見榮坊紳士を記ろさう。それは私がほんの僅かな不足錢お拂ひしたあと……さなきだにこみ合つてる席を大きな、ステッキて、大きな體を支へる樣に、突き立てゝ、腰かけてる男が「フム……不景氣な野郎だなあ……二錢がないつて、とうと娘ごに出さしちやつた……こつちは、持つてるけどわざと出さないんだ……あんな馬鹿には」と。一片の情けある言葉だにない……尤も私だつて眞の同情あつてした事ても何てもなく、利己的に早く歸らなければ、時間が遲くなる故て人の事は笑ふに足らない。けれど……此の洋服紳士……「あんな事云ふ樣な者に限つてきつと遊廓へ行く者だわつ……」と、一人て、心中にさゝやいた通り、果たして山谷の辻車て、巾、（遊廓）に、入つちやつたから世には隨分な見榮坊もあるもの……倫か、二錢を惜しんて、遊女にちやほやされむ爲め、今までは電車て來てゐ乍らほんの、近くになり車て、行くなんて……もし私は先きの若者達より此紳士を、どんなに蔑んだか知れぬ。

七月五日（土曜日）

午後の休み時間を、九號室の、小母さん所へ、布團の洗濯室へゆき、買ひ物を賴ん

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

だり色んな話してる內、先つきより、すぐ手前の手すりに倚りかゝり頻りと、內所（樓主側）の無情を、物語つてる二三人の患者の方へいつしか、氣をうばはれた、よくきけばやはり、そんな點は、どこも同じと見え、樓に在つて、盛んに客を取つてる時と、入院して利益の少なくなつた時、との取扱ひ上……大きな違ひてある事……警察や、病院の方は、休業になつてるにもかゝはらず。養生どころか……客を毎晩の樣に、取らせる事……（中の一人は……「私の所は慣客より外取らせない」と云つてゐた）が、何れにせよ、意味は同じ實にかあい想な次第だ、と感じた。

一人がやけ氣味に反抗的な言葉で「私しんとこの、おやじつたられー、公園廓內に行くのは、無論、辻井さん（醫者）とこまで、一寸と行つても、それさへ、斂しやがらんのだよ……、いま〳〵しいつたら」と、云ふ下たから、、

他の一人はだからさあ……、此の商賣は客計りてなくお上みだらうが御內所だらうが、ドン〳〵唾吐くに限るんだよ、てなきやあ、とても尋常では出られりやしない、私等…だから、御內所には、全く默つて拔けて出たり、髪結ひを迎へに行くんだ、と云つて樓をば離はり警察には買物だの醫者だのと云つて外出し客と示し合はして淺草の活動や、芝居に行くんだよ」等と云ふ樣な事を一生懸命で話し合つてたが、やがて自分等に、關係のある話題…例へば鈴木主水や、明け烏を身振りまでして、役者の聲色使つてゐた。

暫くすると、それにもあき「自分は書生が好き、自分は商人が、私は兵隊が、私は會社員が…私は田舍の金持ちが…役者が…」なんて、てんでに勝手な望みばかり云ひ合ふ。……

斯うした中で、書生が好きと云つた、八千代君は得意になつて、ヴアイオリンもて、毎夜讃美歌うたふを物語つてるので思はず「あなた、クリスチヤンですか…」ときいたのである。

彼の女は一寸…驚ろいた樣に「え…いゝえ、私、小さい時は教會にも行つてましたが、今じやあ脱會してしまつてすつかり、實際も何もしてません、けれども本郷の林町にゐる聖書を教へて下すつた先生の事は、決して忘れません、私も、兩親が、クリスチヤンてあつてくれたら、斯んな所へ、おちずに濟んだのでせうたけれど、何しろ、基督の所に少しだけても入つたのは家中で私一人なもんですから、周圍に迫められてたうとう敗けてしまひましたわう…斯うなつては、もう!!おしまひです、けれども、よく大學生等が來ては「僕靑年會館へ行つてゐるだよつて、內村先生方の話をしてくれたり讃美歌を一緒にうたつてくれたりする人がありますから、私はさう云ふ學生の來てくれるのが、一掛うれしいのよ…」と

本人は平氣で云つてるが…きく私は何だか…恥かしい樣な、かあいさうな樣な…嫌な、氣持ちがしたのである。

七月六日（日曜日）

氣まぐれな私はもう廿日餘りも向ふ島の友の家へ、パラソルおいたまゝ忘れあれば、今日は平凡な電車より川船でと思ひ日本堤を吉野町の方向に取り、今戸の渡し場より一錢蒸汽に乘り、涼しい風…、靑い波、生氣溢るゝ白シヤツ姿の猛けき腕にボート漕ぐ、人の群れの中…を、是れは又…、質朴な鄙の、お爺さん、忍ばせる樣な、編み笠姿の、頑丈な人がギツコン〳〵て悠長な櫓の押し方して、送られ乍ら、着いたのが、白鬚神社岸、やがて長い〳〵葉櫻の堤を西へ、中之郷の友の宅を訪れたのである。

いつも、親切な、あいそよき小母樣は今日も、上つて休む可く、おすゝめ下すつた、なれど、恰も友は故郷の水戸へ歸省中私も急ぎの用事洲崎へ行く可きあればとお辭退申上げ、傘のみ頂いて、立ち出て目的の洲崎へと急いた。

黑江町より先きは何所も〳〵、さすがに昔懷かしさて、胸が躍る樣だつた、大門は入つて、一ととほり、七年前…昔のそれと比べて見るに、これはしたり、甲子本金は元との姿に吉原を模倣して、惡魔の余燄を忍ばして居る。けれどもあの時代に廓內であつた、大八幡新八幡は見るかげもない哀れな店と變つてるし、ケコロなんて云つてた所は一軒も殘つてないし、私つく〴〵彼か七八年の間に、斯くも烈しい變り方を見て、罪業の決して永續しないと云ふのを感じ神へ感謝したのである……と同時に、あとより〳〵何んにも知らずに起りつゝある多くの貸席業者を、悲しくも氣の毒に思つた。何故なれば神が、必ず怒り給ふの日、而して必ず斯業者を轉覆さするの日、遠からずして來るが故に……

病院に在つては入り口ちにあつた、小さな狐堂が途方もない大きくなつて、前に引きずり出されてある事が違つてる位のもの……だだつぴろい、玄關口は相變らず昔のまゝ……妹は受け附け所から飛んで、來て、「まあ姉ちやん…私ね…もう、四時間も前から、こゝへ出て待つてたのよ、餘り待ち遠しいから、先つき電話かけたのと人の挨拶も何も、耳にはせず、傘や下駄をさつさと奥に持つて行つて了ふ。やうやく一室に、おち着いてから、妹は「私…あの時、姉ちやんに隨分わがまゝ云つて、困らしたのですもの…こんど、顏合はしたら何てお詫びし樣かと、思つてましたわつ斂して下さいつー」と、逍に開け放しの心のまゝを、ふるまつた昔の、おも影は今…どこへやら…、いぢらしくも、涙一つぱい溢らして、其後も種々と變つた物語りに、時の移りゆくも、忘れる位であつた。

が、何はともあれ、院內を案內して貰ふ可く先づY樣（舊知の藥劑師）に運ひ昔の先生方や友の上を話し乍ら、醫局藥局內科！治療室、外科、研究試驗室、運動場等を、一覽、吉原病院と比して、確かに、新らしいだけでなく、よく整理され、設備が行き届いてゐるのに、感ぜしめられたのである。

次には三業事務所の二階に設けられてある、外來部に行き舊友姉に逢ふ。此所は全然病院とは無關係の如き有樣なれど、檢査受けて、入院し、おまけに一歩も外へ出られぬ不自由を、するより、こちらに入つて居れば、自由の出來るを、何より望みて、手術でもこゝで受ける者が多いのだと云ふし、又檢査受ける前毎日先づ、こゝて皆、洗つてやるのだとか。であれば吉原に於ける病院前の村山病院と同じ樣な手てある故、病院との交渉は無きかも知れれど、檢査上奸妓に對してのよからぬ道踏み居るは間違ひない事である。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

編輯之後

■土用に這入つてから滅切り暑くなつた。斯う暑くつては中々やりきれたものではない。でも着物の入らないのは無産者に採つては福音だ。僅かに冬よりは夏の方が幸福なやうな氣持ちもする。庭の雑草は勢よく延びてゆく。夏の無産者の氣分も一面に於ては確かにあの通りだ。——でもタマには氷水の一杯位はノド佛を見舞はしてやりたいものだ。

■思つたことが思ふ儘氣儘にチヤン〳〵と運ばれるなら、世の中は太平無事四海波靜かだ。けれどもさうは問屋でおろさぬのが世の中だ。

日々の生活に必要な物價は中々下らぬのに、人間の價は急轉直下、而かも加速度が加はつて、何の遠慮會釋もない。斯うなると人生も愈々味ありて、中學時代には仕方なしの點取りにやつた物理の原則を急に古い記憶から喚び起し、思案するなどは到底も資本家には眞似も能きない藝當だ。お蔭で氷水も飲めやしないその代り、海よ山よと逃げ廻はつて、目を白黑させるやうな厄介は、我等無産者達には思ひも及ばぬ。何が幸になるか解らぬものだ。之れだから人生は面白い。

■吾々無産者が、生活の脅威といふ攻め道具に恐縮するやうに、資本家連は土用三郎に苛められ、恐れ慄えて敵に背を見せて脱兎の如く逃げてゆく。それでも土用三郎は矢つ張り執念くその背を追つてゆく。此奴計りは幾ら資本家でも、何うすることも出來ないものと見える。お蔭で吾々の方にはお留守と見えて、土用三郎は吾等を餘まり苛めはしない。然し額の赭焼けて來るのはレツテルを貼られたやうな氣分もしないではないけれども、恒に豪らさうに構へてる資本家が、周章狼狽して逃ぐる様な不體裁や、慘めさがない丈けに、まだ〳〵結構だ。強ち痩我慢を張るのでもないが、赭顔は強健の表徴だと思へば、然麼な嬉しい事は無いではないか。

■それに此の頃では新聞までが氣を利かして、面白い記事を見せて呉れるのだから、寄席や芝居に往かずとも、居ながらにして大分賑かな大芝居を見せて呉れるのだから我等に採つては、こんな有り難いことはないではないか。

この四五日間といふもの、何の新聞を見ても殆んど全紙面を擧げて、時節柄腐敗した東京市政の土用干しだ。さうかと思ふと隣の欄には横濱税關の土用干し、矢つ張り夏は土用干しの季節ださうな。土用干したくも一枚脊板の無産者には、开麼な無駄骨を折る時間もなければ、干すやうな着替へは旅行中とあるのだから季節も何も全く無關係で忘れて居たが、然しあの徹の掃除が完全に出來るかな？ 強よい曹達でも入れて煮え湯の中で、こわいブラシで擦すらんと中々落ちはすまい。それとも燒き場の御厄介にならねと駄目かな？

■金を持ち始めると吐氣峯になり、體が太つてくると權力が欲しくなると同時に、徐ろ〳〵病が起り易くなるものだ。一體不自然に太ると、どうも不健康で、常に痩せて弱はさうに見えるものよりも、遙かに病氣が多く、水腫れに困つて居たり、案外丈夫相に見えて居ながら、短命に了るものが中々少くはない。

おれて赤煉瓦の病院の増設をせねて足りるかな。

避暑には人里離れて居てよいかも知れぬ。

■瓦斯事件の豫審調書には、矢つ張り瓦斯がある、それて青白い烟の間からお化けが出るのだから、我等無産者には寄席や芝居より以上に面白い餘興だ。青くなつたり、白くなつたり、赤くなつたり、瓦斯の燃ゆる色彩そつくりの、色取々りのお化けが躍り出すのだから然麼な面白いことはありはしない。瓦斯を吸つた文明のお化けは中々變つたものだ。これだから文明は有り難い。一世紀早く生れて居らうものなら、こんな奇な化身は見ることは能きなかつたらうに。

ほんとうに、しあはせなことだ。おふくろも。定めし喜んだ親爺にも見せてやりたかつた。——などゝ繰り事を考へて居ると急に瓦斯の出もよくなつたやうな氣持ちがした。何んだか遙かに電燈も明るくなつて來たやうな氣持ちがする待てよ、狐狸の仕業ではないか一つ眉に唾をつけて見なければりや、眞實の事は明瞭りとは分らない。

■狐狸と謂へば、人里離れた奥山でなければ居ないものと思つて居たら、現代では中々さうでない。白晝帝都の大道を自動車で驀進するのだから、何んだ馬鹿々々しい。矢つ張り宇宙は一つの大きな謎だ。开麼な大きな謎を金も時間も無い、勞働者が解いて居る暇はない。それよりも、我等は先づ次の一日のペンを探求するのが肝要だ。狐狸の仕業は狐狸之れを解し、眞人間には解かるものではない。夫れよりは明日の爲めに、疲れぬ様に、休養した方が自己に最も忠實なる所以だ。

まあ、謎は謎として束ねておいて、狐狸は矢張り厳重な檻の内へでもおくがよい。そして徹は何處までも完全に掃ふ様にして、汚れたまゝを姑息な土用干位で仕舞ひ込み、再び後とて黴がねやうに、完全に手入れをしなければ、今までの骨折りも結極無駄骨となり、何時までたつても同じ様なことを繰り返へすのみで、更らに pappy せられる時はない。

■さても幸福なる設勞働者、我等は其麼人間ばなれた眞似をする必要もなく、暑いからとて逃げまはるほどに卑怯にも産まれて居ない。唯だ我等は無我夢中で毎日々々孜々として働き、麵麭として日を送つて居れば夫れてよいのだ。さうする事によつて、餌はまあ資本家から支給せられるであらう。然し、麵麭の塵までは拂はずとも差し支へはなからう（清榮）

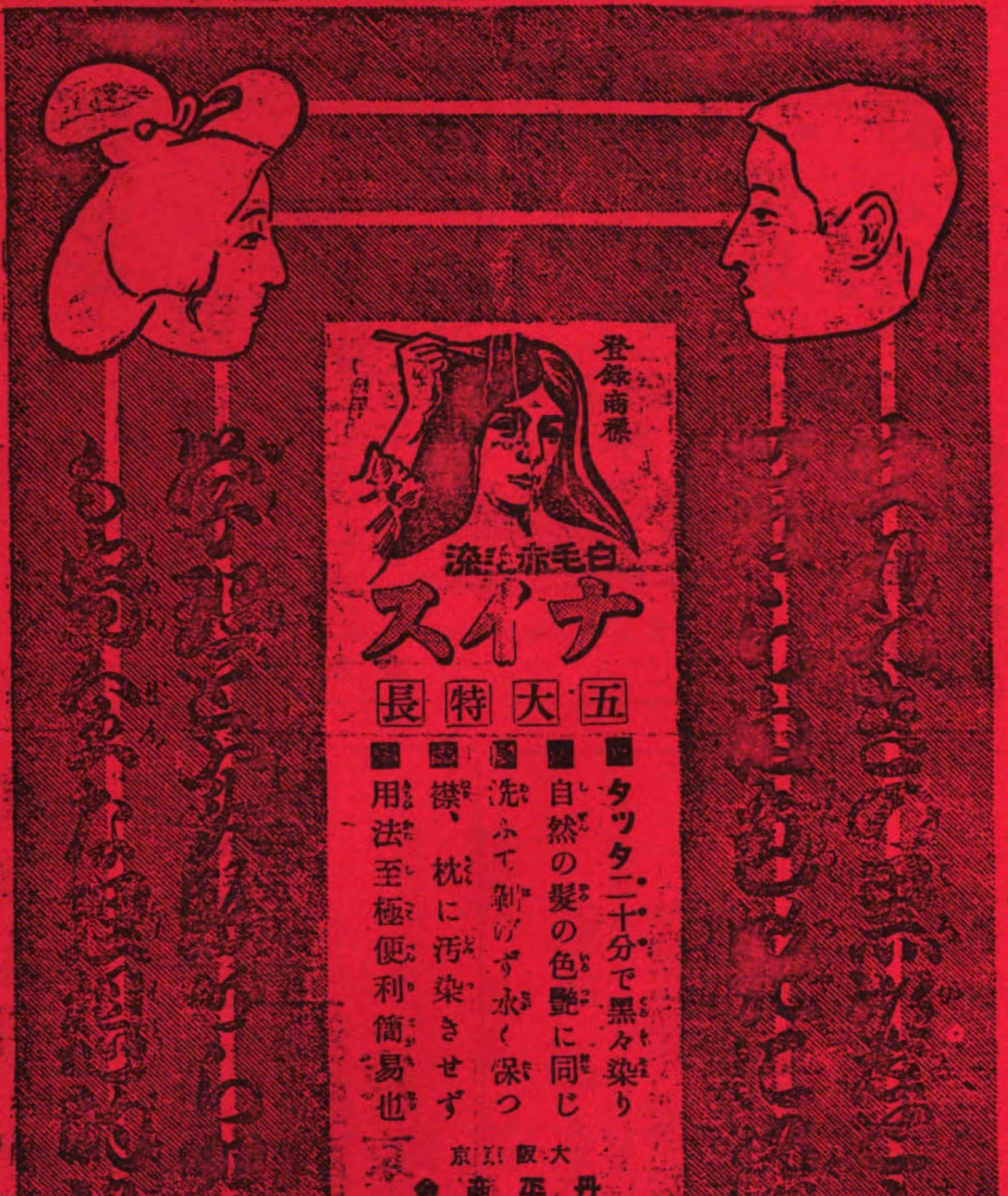
大正十年八月十日印刷　（毎月一日十日發行）
大正十年八月十日發行　（一部定價金二十錢）

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉

印刷人　本郷區眞砂町三十六番地　佐藤駒次郎

印刷所　本郷區眞砂町三十六番地　日東印刷株式會社

發行所　神田區表猿樂町七番地　勞働週報社
電話神田四〇二〇番
振替東京二七〇七二番



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

◉御注文の際は必ず雜誌『廓清』によるる旨を申添を乞ふ◉

酒きらいになる藥

禁酒丸

一週分 一圓五十錢
二週分 二圓八十錢
三週分 四圓

どんな酒煙草のみでも審なく心からきらいになる。郵券二錢送れば說明書及大澤博士其他名士の

禁酒論 禁煙 進呈

禁煙 煙草きらいになる藥 發

金壹圓 金貳圓 金參圓

本舖 大阪靭南通二丁目 森田商店

電話土佐堀二六〇二番
振替大阪二二一二六番

產婦人科・小兒科

富山改め
安醫 吉岡彌生

△院長診療 宅診午前・往診午後
△醫員診察 午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應す

東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七番

市街建築法ニ依ル手續代願應依頼
—（官廳出願代理建築設計監督）—

都市建築協會
東洋測量社

主任 石川喜代松

東京早稻田鶴巻町二二七
電話番町三〇一一番(呼出)

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

●廣告主へ御用の際は必ず雑誌「廓清」による旨御申添を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Komagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA

Within a few minutes from the Chigasaki Raiway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone: Chigasaki No. 2.

副長(新任) 醫學士 岡本鑑雄

診察毎朝(但祭日及日曜の他)

院長 診察、月、木、金午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地(市ケ谷見附上)

電話 九段 六六二番 六六三番 **東洋内科醫院**

院長 醫學博士 **高田畊安**

電話ちがさき二番 **南湖院**

相模國茅ケ崎海濱(從停車場半里)

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後 入院診後應需

診察毎日午後 但祭日及日曜の他

◎募集——看護婦志願者、及雜事婦

（大正七年十一月一日第三種郵便物認可）（大正十年八月十日印刷納本）（毎月一回十日發行）

大賣捌所
東京堂、東海堂、上田屋
警醒社、北隆館、至誠堂

定價一冊金二十錢